

未来への5つの挑戦

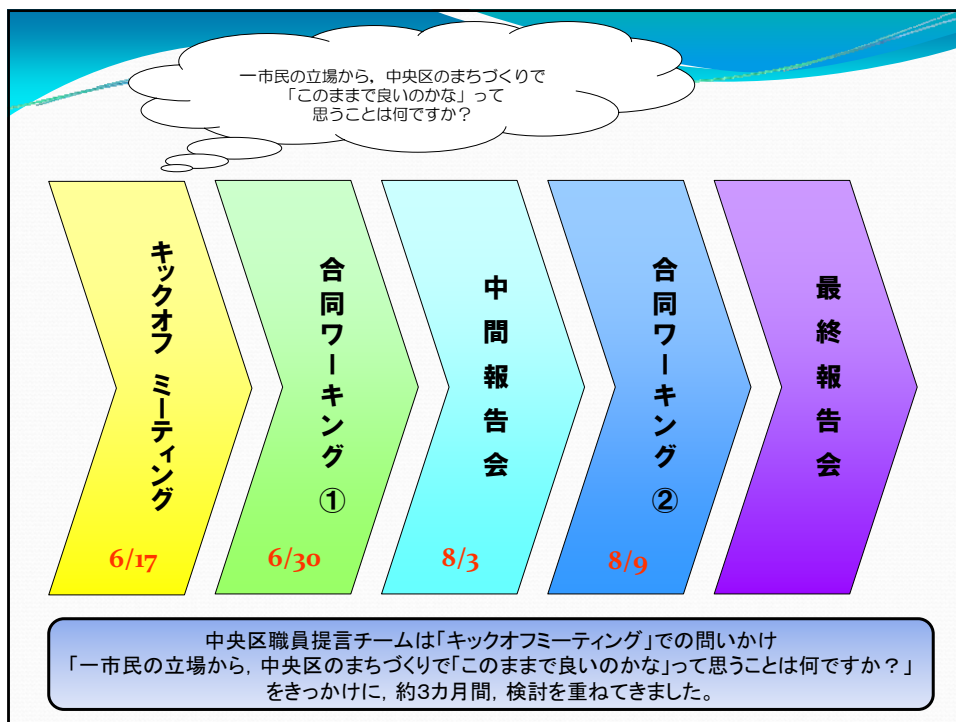
エネルギーとエコと絆の中央区

- 提言その1 多文化共生の街 中央区
～ 商業と住環境の両立 ～
- 提言その2 アジアに開かれた魅力ある中央区
- 提言その3 人 つながる 中央区
～ あ な た 次 第 as you like のまちを目指して ～
- 提言その4 チャリシティ 中央区
- 提言その5 緑と憩いとエコの空間 中央区

中央区職員提言チーム
Dramatic Future Chuo!



平成 23 年 9 月

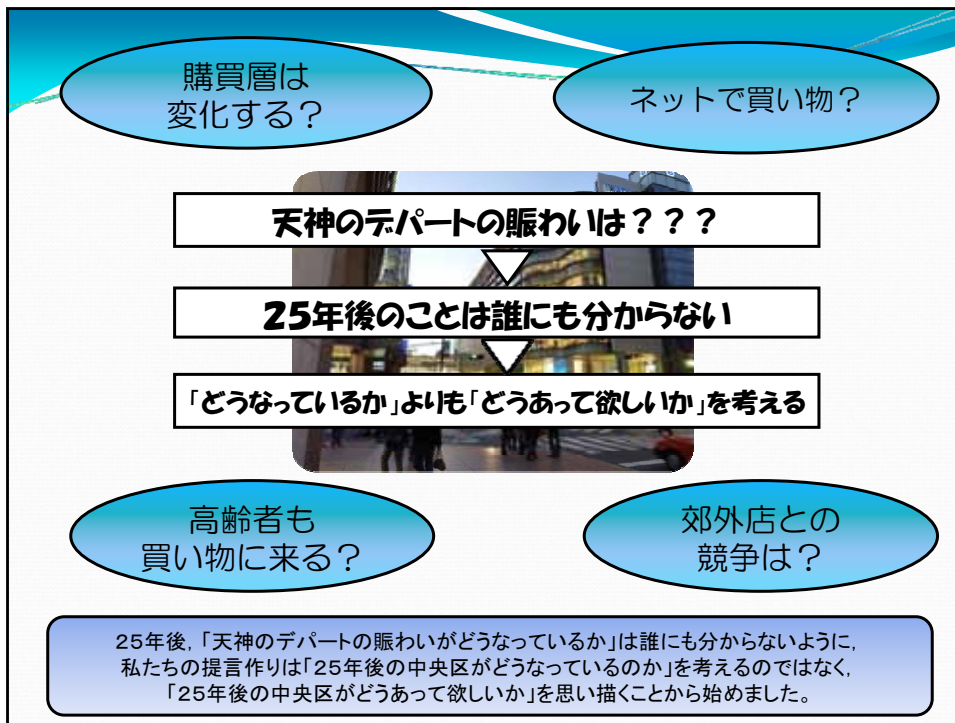


ファシリテーターの山口覚さんの導きで、「ワールドカフェ」で自由に意見交換したり、高島市長から激励のお言葉を頂きながら、徐々に提言をかたち作っていきました。

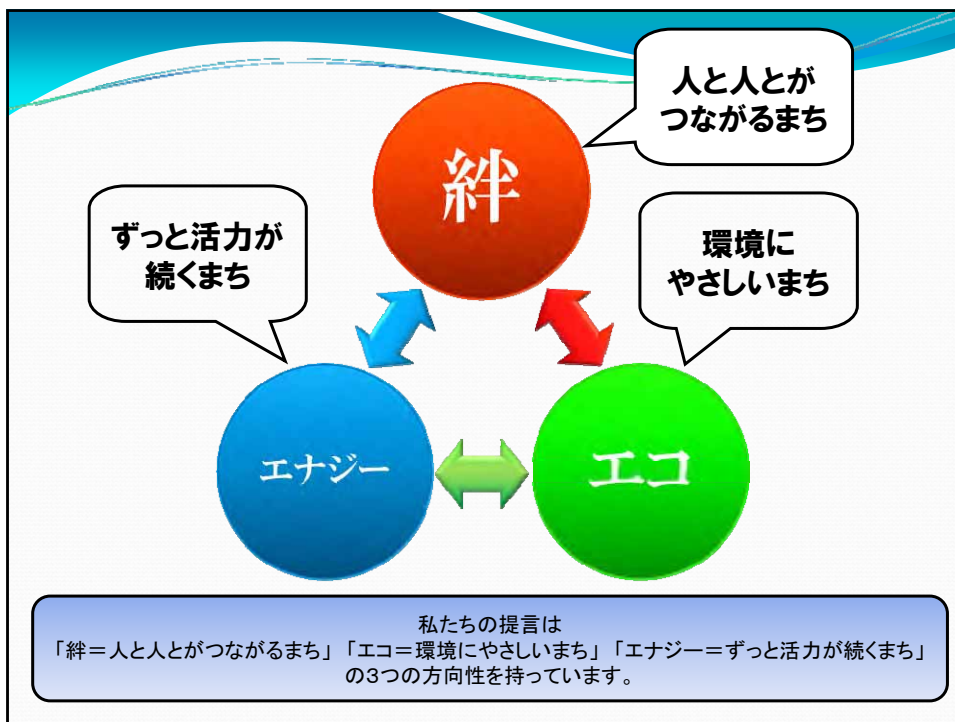
ワールドカフェの様子です。

高島市長とのランチミーティングです。

ファシリテーター
山口覚さん
NPO法人地域交流センター
津屋崎ランチ



写真出典: ブログ「オーガニックオヤジの美味しいオーガニック珈琲」より



多文化共生の街 中央区

アジアに開かれた魅力ある中央区

人 つながる 中央区

チャリシティ 中央区

緑と憩いとエコの空間 中央区

3つの方向性を踏まえた、「5つの提言」を報告します。

写真出典
・西鉄旅行HP ・illpop.com
・ブログ「おきなわのちから * オキナワノチカラ」
・「この木なんの木みんなの木! BLOG」より

今日は

2036. 09. 06

です。

なお、提言は今から25年後の「2036年9月6日」を現在としています。



多文化共生の街 中央区

～ 商業と住環境の充実 ～

ずっと活力が
続くまち

エネルギー

人と人が
つながるまち

絆

多文化共生の街 中央区

～ 商業と住環境の両立 ～

提言策定の経緯

25年前、中央区は福岡市の商業の中心でした。商業地の拡大により飲食店と居住地が隣接し、騒音被害が見られる地域は一部でしたが、公共交通機関も整っていて、スーパーも随所に見られ、全体的には住み心地は悪くありませんでした。この住み心地の良さは中央区が福岡市の商業の中心であることが背景にありました。

それから25年後の現在、日本全体が高齢化社会を向える中で、中央区は福岡市の商業の中心としてあり続けることができるだろうかという問題点より、提言を策定しました。

対策として中央区全体の居住者を増やそうと考えました。マンション建設、外国人対応可能な病院建設、インターナショナルスクール建設により、住環境を整え、経済成長著しい、アジア例えば、中国人を中央区に居住してもらうように促しました。またその副次的効果としてアジアからの観光客の増加を狙いました。

対策は見事に効を奏し、2036年も中央区は福岡市の商業の中心であり続けることができます。また、外国人に対する市民の態度も変化し、外国人に対して親切な対応ができるようになりました。

その結果、2036年、ある調査によると福岡市は住みやすい町NO1、訪問したい町NO1を獲得しました。

(スライドNo)

1. 経緯

- | | |
|----------------------------|-------|
| ① 2011年当時の現状と課題 | 1-5 |
| ② 2011年に予測した2036年の社会の現状と課題 | 6-11 |
| ③ 方針 | 12-16 |

2. 取り組み

- | | |
|------------|-------|
| ④ 土地の確保 | 17-19 |
| ⑤ マンションの建設 | 20-22 |
| ⑥ 学校の建設 | 23-24 |
| ⑦ 病院の建設 | 25 |

3. 結果

- | | |
|---------------|-------|
| ⑧ 波及効果 | 26-27 |
| ⑨ 2036年現在の中央区 | 28 |



多文化共生の街 中央区
~商業と住環境の両立~

中央区役所

2036年9月6日

25年前のワーキンググループ風景



25年後の未来。商業と住環境の両立について考えました。

中央区は一体？

商業の街？



住むための街？



という点について話し合いました。



中央区は小売業の集積地であり、住宅地もある。商業の発展とともに住み良さも追求するべきではないか？という結論に達しました。

現状と課題

- 1. 2011年当時の現状と課題
 - ・居住面
 - ・商業面
- 2. 2036年の社会の現状と課題

25年後を考えるに際して
これらについて話し合いました。

居住面から見た2011年当時の 中央区の現状と課題

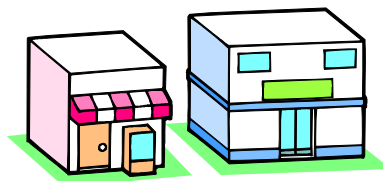
- 店も随所にある、公共交通機関も発達
- 住み心地は悪くない



英国Monocle誌の2008年の調査においても
福岡市は世界で最も住みやすい都市14位に
ランクインしています。

商業面から見た2011年当時の 中央区の現状と課題

- 商業の中心

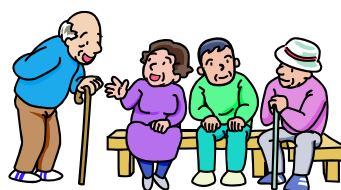


- 販売額は低迷



2036年の社会の現状

- 高齢化の進行



- 生産年齢人口(15歳から64歳)
の人口の減少



商業面から見た2036年の 中央区の課題

- 高齢化に伴い、中央区に通勤、通学する人口の減少
- 中央区の小売業の販売額の減少
- 中央区は商業の中心ではなくなる！！



居住面から見た2036年の 中央区の課題

- 公共交通機関の廃止
- スーパー等の撤退
- 住み心地が悪くなる

商業発達と住み良さの関係

商業活動の発達



住み心地のよさ

商業地はこれ以上広げない方向で、商業の発達を促すという方法で検討しよう。

- 2036年も中央区が商業の中心であるためには？



- 他の地域の消費者を奪うのではなく、アジアの人を呼び込む方法で消費者を増やす。(居住者を増やす)

発展していくアジアの国々

例えば・・・



この中で、例えば、中国に着目しました。

相乗効果


中国人の中央区在住者を増やす



親戚、友人が訪問し、福岡を訪問する
観光客が増える



消費拡大し、経済活動が栄える



WGが考えた 中国の25年後の状況

- 中国は経済大国へ
 - 富裕層が形成される
 - 富裕層はより良い環境を求めて国外へ
 - 少子化の影響で少ない子供へ投資
 - 富裕層をターゲットとしてマンション建設
- ・ 飛行機技術の進歩



中央区の重大問題

土地がない



那の津の整備

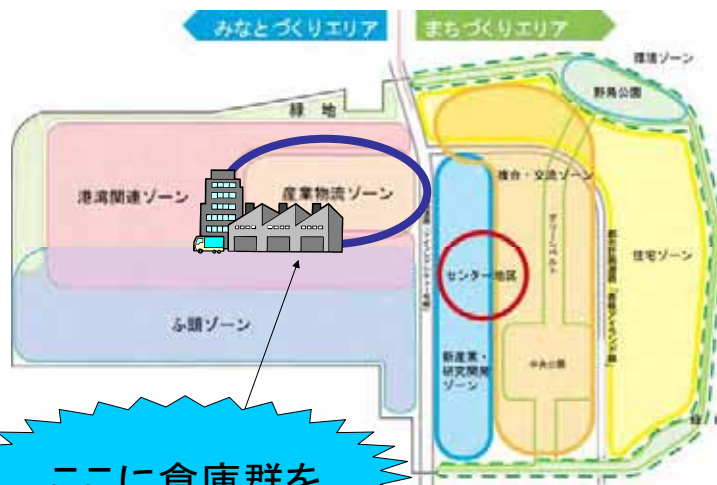
那の津



倉庫群はどこに...?

地図出典: Google, 地図データ ZENRIN

アイランドシティ



ここに倉庫群を

市長によるプロモーション



住居の建設



マンション建設地として住宅3500世帯分建設

2036年現在のマンション群



学校の建設



幼稚部から高等部までのインターナショナルスクール



インターナショナルスクールの特徴

- 授業は英語
- 英才教育
- 国際バカロレア・ディプロマプログラム認可校
- 文部科学省の認可校
- 外国人支援事業を校内で実施



病院の特徴

- 内科と小児科
- 九州大学病院にて研修を受け日本の高い医療技術を学んだ医師が診察
- 数名の中国人看護師



福岡市の居住外国人人数も増加

- 訪問外国人が増加



- 福岡のよさが伝わる



- 居住外国人も増加

※2036年現在6万人

(福岡市の人口の約4パーセント)



市民の気持ちの変化

外国人の居住者、訪問者の増加



外国人に対する気持ちの変化



おもてなしの心



2036年現在の福岡市

住みやすい街

NO.1

訪問したい街

NO.1



アジアに開かれた魅力ある中央区

ずっと活力が
続くまち

エナジー

アジアに開かれた魅力ある中央区

提言策定の経緯

福岡市は当時(2011年)、人口・経済ともに着実に成長を続けてきましたが、その後の少子高齢化等による低成長時代の到来において持続的な発展を遂げていくためには、その個性にさらに磨きをかけていくことが求められていました。

本市における個性としてアジアとの距離の近さが挙げられ、比較的国際交流の盛んな都市であると言えます。特に、2009年の国際会議の開催数は国内2位を記録しました。このコンベンション開催は世界各国からの参加者に本市をアピールできる場であり、アフターコンベンション(国際会議等あとの懇親会や観光)による地元経済への波及効果も大きいという特徴があります。そこで、もともと都市機能の充実している本市中央区においてコンベンションの誘致を目的とした取り組みを行い、外国からの来訪者を対象とした観光・商業へ力点を移すことで経済の活性化を図りました。

コンベンション誘致のために、1つの核とそれを支える3本の柱という取り組みを行いました。まず、1つの核として、須崎埠頭の再開発によって国際ターミナルやコンベンションセンター等を併せ持つ第2コンベンションゾーンの整備を行い、既にあった中央埠頭の第1コンベンションゾーンとあわせて、アジアを中心とした国際会議を一手に担うアジアの玄関口を整備しました。そして、それを支える柱として、食をテーマにした市場の再編、観光をテーマにした歴史的な名所の開発、そして活気・賑やかさをテーマにしたイベント会場の充実という3つの取り組みによって都市としての魅力の向上を図り、コンベンション誘致へのアピール材料としました。

これらの取り組みによって、福岡市はコンベンション開催数が飛躍的に増加し、世界中から観光客やビジネスマンが集まる活力溢れる都市になりました。

(スライドNo)

1. 経緯	
① タイトル	1
② 25年前の福岡市の課題と方向性	2~3
③ 概要・年表	4~5
2. 取り組み	
④ 須崎埠頭の再開発 (1つの核)	6~7
⑤ 市場の再編 (1本目の柱)	8
⑥ 歴史的な名所の開発 (2本目の柱)	9
⑦ イベント会場の充実 (3本目の柱)	10
3. 結果	
⑧ まとめ	11



25年前の福岡市の課題



人口(生産年齢・年少人口)の減少

経済活動の停滞

福岡市はこれまで人口・経済ともに着実に成長を続けてきたが、今後少子高齢化等による**低成長時代**の到来において持続的な発展を遂げていくためには、その**個性にさらに磨き**をかけていくことが求められていた。

25年前の福岡市の方向性



外国人入国者数の増加

国際会議開催数 国内2位

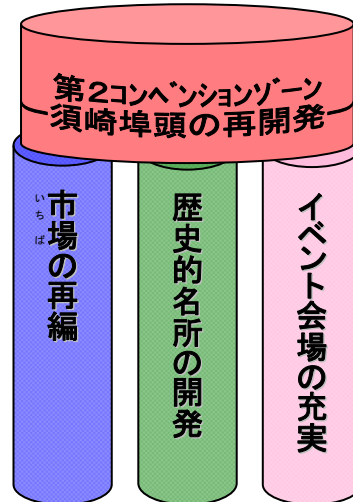
本市における個性として、アジアとの距離の近さが挙げられる。当時、本市の外国人入国者数は増加傾向にあり、特に、国際会議の開催数は国内2位を記録していた。このコンベンション開催は世界各国からの参加者に本市をアピールできる場であり、アフターコンベンション(国際会議等あとの懇親会や観光)による地元経済への波及効果も大きい。そこで、もともと都市機能の充実している本市中央区においてコンベンションの誘致を目的とした施策を行い、外国からの来訪者を対象とした観光・商業へ力点を移すことで経済の活性化を図った。

中央区管内図

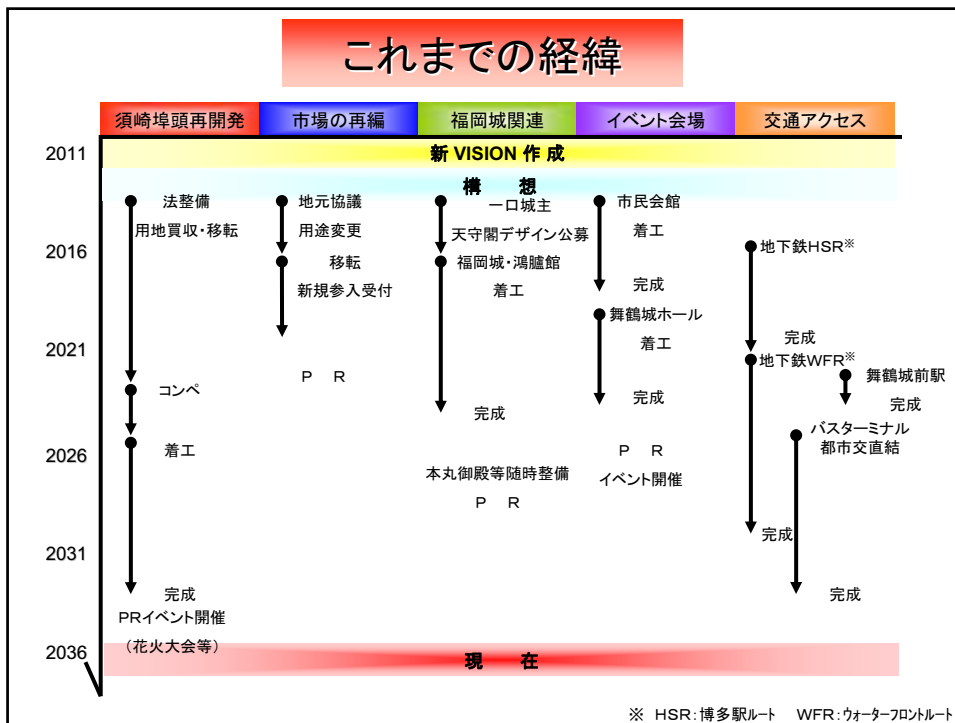
概要



コンベンション誘致のための
1つの核と3本の柱



須崎埠頭の再開発により国際ターミナルを含む第2コンベンションゾーンを整備し、市場の再編や福岡城等の歴史的名所の開発、イベント会場の充実といったアフターコンベンションの場の創出を図り、さまざまなコンベンションの誘致に成功した。



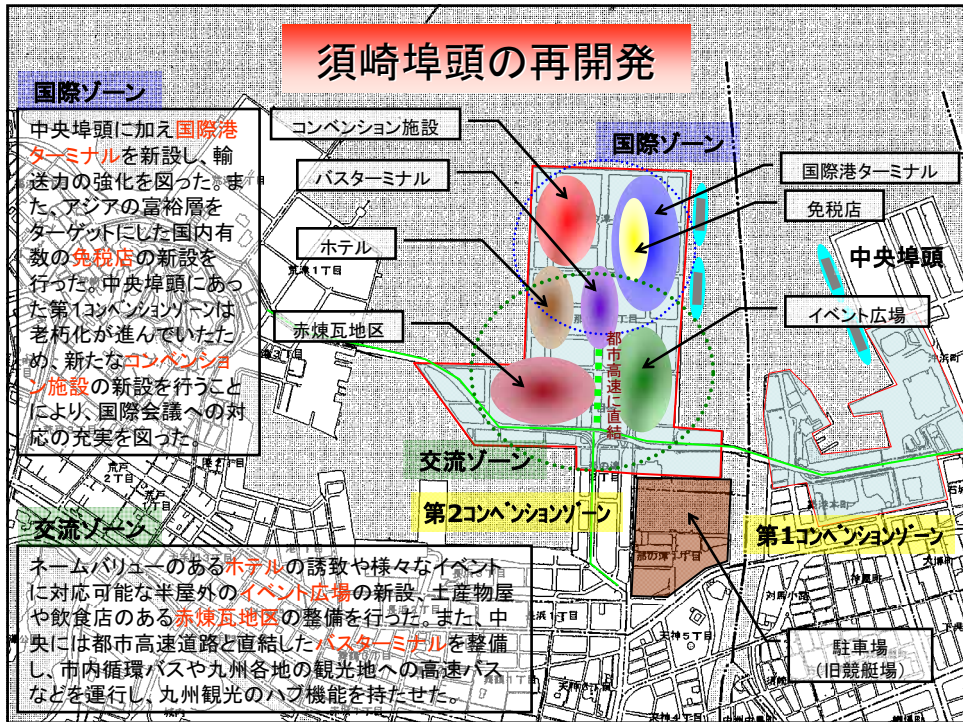
須崎埠頭の再開発

25年前の姿:
穀物基地としての機能を持つ須崎埠頭であったが、倉庫群の老朽化も進んでいた。

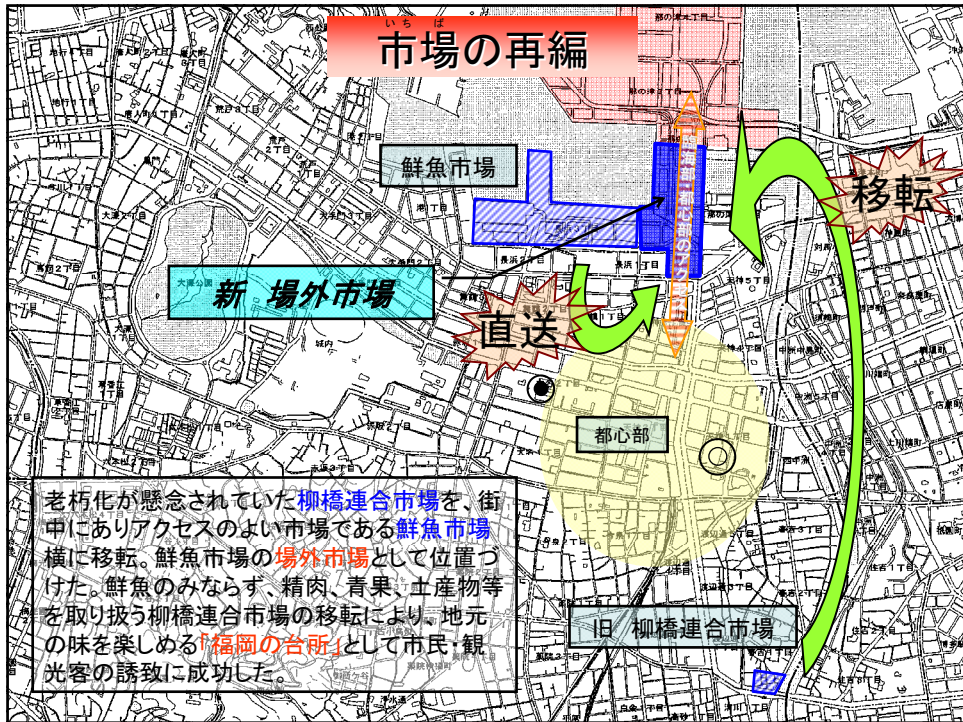
再開発手法:
天神からほど近い立地的優位性を活かすため、穀物倉庫群をアイランドシティへ移設し、投資ファンドなどの仕組みを利用し、民間企業を主体とした再開発を行った。

現在の姿:
再開発を行った須崎埠頭を第2コンベンションゾーンと位置付け、中央埠頭にあった第1コンベンションゾーンとあわせて、アジアを中心とした国際会議を一手に担うアジアの玄関口として飛躍的な発展を遂げた。

※25年前の須崎埠頭



地図出典 ZENRIN 住宅地図(デジタル版)



地図出典 ZENRIN 住宅地図(デジタル版)

福岡城

歴史的な所の開発



『福岡城だより(2010年10月No.27)』
鴻臚館・福岡城跡歴史・観光。市民の会


鴻臚館

市民公募や一口城主などの手法により、**福岡城** **天守閣**及び**本丸御殿**の建設を行い、市民が作り上げる市民のための文化施設として開発を行い、観光客の誘致に成功した。また、大陸との古からの交流を物語る**鴻臚館**の建設も行い、連日多くの歴史好きな外国人などが詰めかけている。

CG出典 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会HPより
 写真出典 花橋亭 ~なきの旅日記~HPより

舞鶴城ホール

イベント会場の充実



アクセスの良好な高等裁判所跡地に、福岡市全体で不足している**中規模(1,000~2,000人程度)ホール**を新設した。更に、老朽化が懸念される**市民会館**の再建を行った。須崎埠頭に新設した**野外ステージ**も加え、年間を通じて様々なイベントが催されており、多くの人が一つの場所に集まり、楽しみを共有する場を都心に整備した。

地図出典 ZENRIN 住宅地図(デジタル版)

まとめ

これら1つの核と3つの柱の施策によって、コンベンション開催数は飛躍的に増加し、福岡市は世界的に知名度のあるまちになった。

知名度が高まるにつれ、世界中からたくさんのビジネスマンや観光客が訪れるようになり、商業が発展することで市民は多くの雇用機会を得ることができた。

本市の売りであった生活しやすい環境に加え、雇用が安定したことによって未婚率が減少し、他都市よりも比較的に子供の多いまちになった。

国際交流が盛んで、働く場は十分にあり、
未来を担う子供の多い**活力溢れる都市**になった。

～ご清聴ありがとうございました～



人 つながる 中央区

あなた次第

～ as you like のまちを目指して～



人と人が
つながるまち

人 つながる 中央区

あなた次第
～as you like のまちを目指して～

提言策定の経緯

自治会・町内会に対する認識や地域活動への関わり方が変化する中で、それでも人々は何らかのつながりを求めている、このような状況を25年前の「新ビジョン策定」時に念頭に置きました。

当時の人々の意識や、人口構成、地域を取り巻く状況を分析した結果、私たちは

「多様性(ライフスタイル・嗜好・価値観)」

「認知性(地域に対する関心)」

「関係性(地域との関わり方)」

の3本柱に基づいた「まちのコラボステーション」の存在を提案しました。福岡市の強みであった一校区・一公民館を活かして、「地域の居間」づくりを目指したのです。

——そして現在。公設地域営の「まちのコラボステーション」は地域に浸透し、「あなた次第 as you like」の運営を通じた新しいコミュニティが築かれています。住んでいる人・事業所の関係者・・・中央区を構成するあらゆる人々が関係する様々な物語が日々、生まれています。

(スライド No)

1. 経緯

- | | |
|-----------|-----|
| ① テーマ背景 | 1-2 |
| ② 当時の状況分析 | 3-4 |
| ③ 課題抽出 | 5 |

2. 取り組み

- | | |
|----------------------|-------|
| ① 取り組みの年表 | 6 |
| ② 課題解決への3本の柱 | 7-9 |
| ③ 「まちのコラボステーション」について | 10-13 |

3. 結果

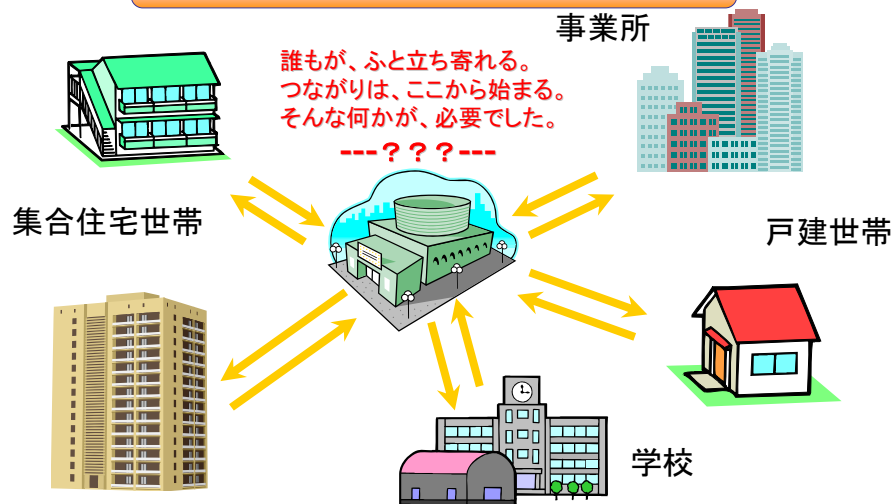
- | | |
|-------------------------|-------|
| ① ステーションを巡る物語 | 14-19 |
| ② 「まちのコラボステーション」とコミュニティ | 20 |
| ③ コミュニティの二面性 | 21 |
| ④ 現在の姿 | 22 |

人 つながる 中央区

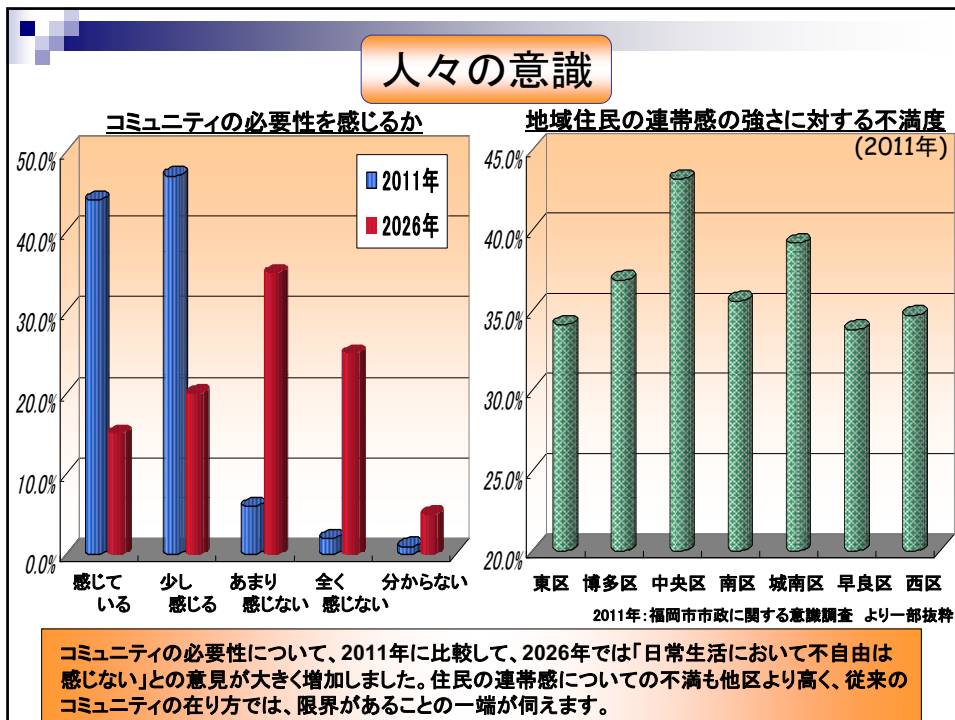
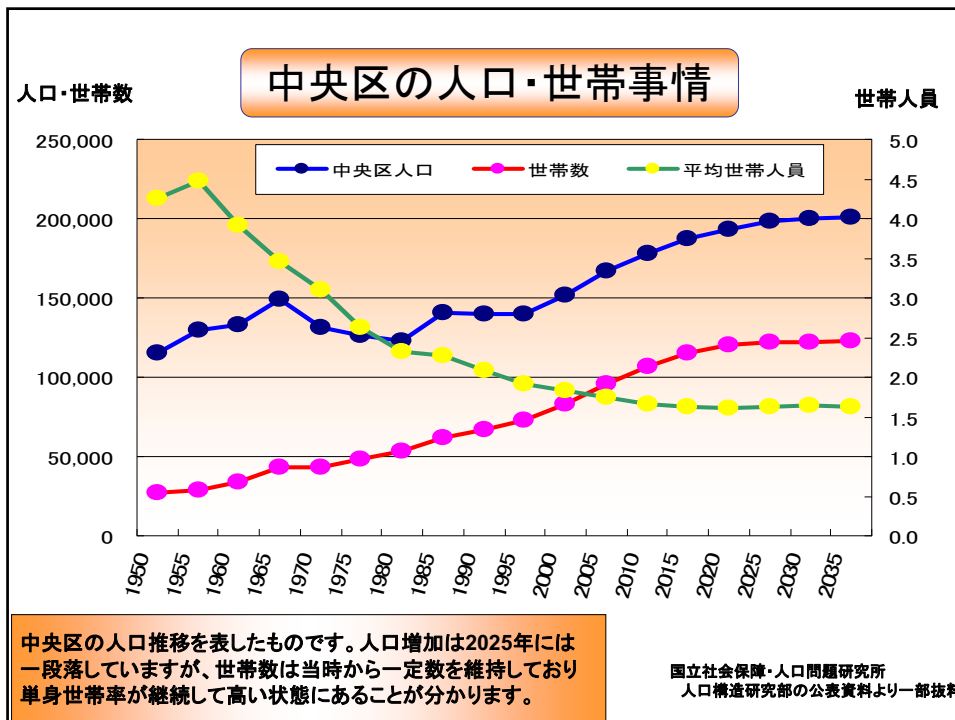
あなた次第

～ as you like のまちを目指して～

コミュニティ = 地域のつながり



私たちはコミュニティの意味するところを「地域のつながり」と考えました。
地域を構成する様々な要素を結び付ける、「つながりが生まれる場所」を
新たなコミュニティの姿を考える上での柱としたのです。



コミュニティの必要性と課題

災害時

- H7.1.17 阪神・淡路大震災
- H17.3.20 福岡西方沖地震
- H23.3.11 東日本大震災

孤立世帯

- 高齢者
 - 単身世帯
- 増加

→「まず自助・共助。
公助には限界がある」

○課題○

自治協議会・町内会は今のまま維持できるか？
新たな地域のつながりが必要

○目標○

普段は緩やかなつながり+「事有る時に集まれる」

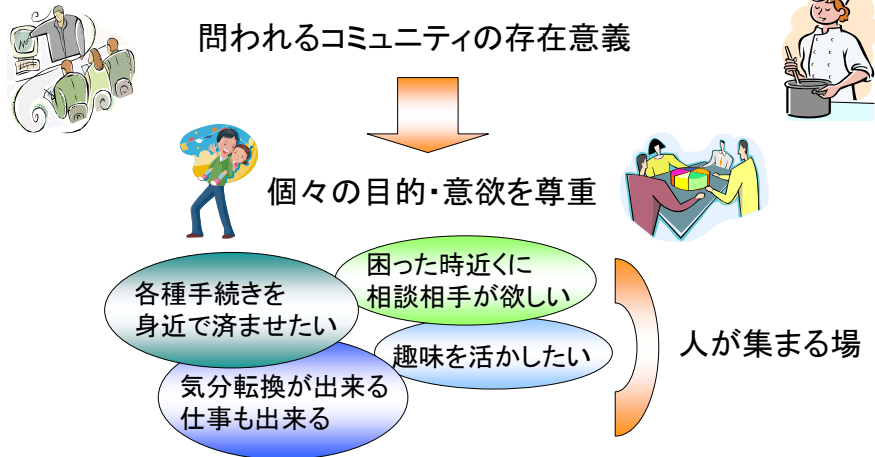
コミュニティの必要性を再検討した上で、課題と目標を整理していきました。

これまでの取り組み

西暦	出来事	概要等
2011	新ビジョン(25年後の未来像)策定	コミュニティの必要性を認識している人は約80%。 「地域住民との連帯感」に対する不満度は約43%。
2012		
2013	「中央区コミュニティ再編準備委員会」発足	課題の把握と解決の道筋を模索
2014		
2015		
2016	「中央区コミュニティ再編委員会」発足 地域連携・交流課の新設	人口・単身世帯・高齢者率の増加、生活様式の多様性への対応を迫られる
2017	各地域団体の統廃合に着手	関係団体への説明・調整期間
2018		地域団体の統廃合期間
2020	「まちのコラボステーション」事業立ち上げ 「自治協議会」から「ステーション運営委員会」への移行開始	市政だより・中央区版の特設欄にて、広報に注力
2021		
2022		
2025	各地域団体の整備完了	子ども育成・地域の安全(交通・防犯)に特化した2団体となる
2026	住民意識調査実施	コミュニティの必要性を認識している人は約35%に低下
2027		
2030	ステーション運営委員会へ完全移行 14のステーション完成	地域連携・交流課が、地域毎の予算を管理 ステーションの地域格差が問題となる
2031	運営委員のための専用サイト立ち上げ	地域同士の連携のきっかけを整備
2032		
2035	住民意識調査実施	コミュニティの必要性を認識している人は約60%に回復。 「地域住民との連帯感」に対する不満が約30%に低下。
2036	現在に至る	
新しいコミュニティを実現するまでの取り組みを示したものです。地域団体の統廃合や関係団体との調整、自治協議会制度からの段階的移行など多くの課題がありました。		

課題へのアプローチ①

I: 多様性 (ライフスタイル・嗜好・価値観)

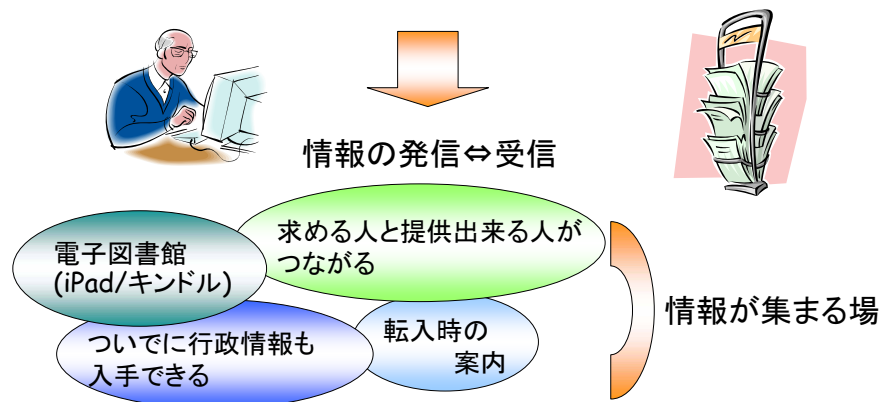


3つのキーワードから課題にアプローチしました。1つ目は「多様性」で、個々の目的・意欲を尊重するために、開放的で緩やかな、人の集まる場作りが重要と考えました。

課題へのアプローチ②

II: 認知性 (地域に対する関心)

地域のことが「見える」「分かる」「知りたくなる」

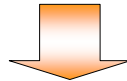


2つ目は「認知性」で、地域に対する興味・関心を高めることです。地域のことが「見える」「分かる」「知りたくなる」ような、情報が集まる場の整備が望まれました。

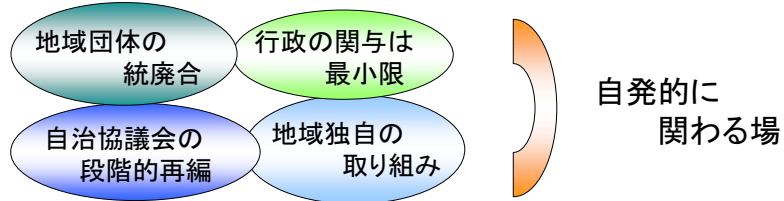
課題へのアプローチ③

Ⅲ：関係性（地域との関わり方）

コミュニティ運営に係る負担感・義務感

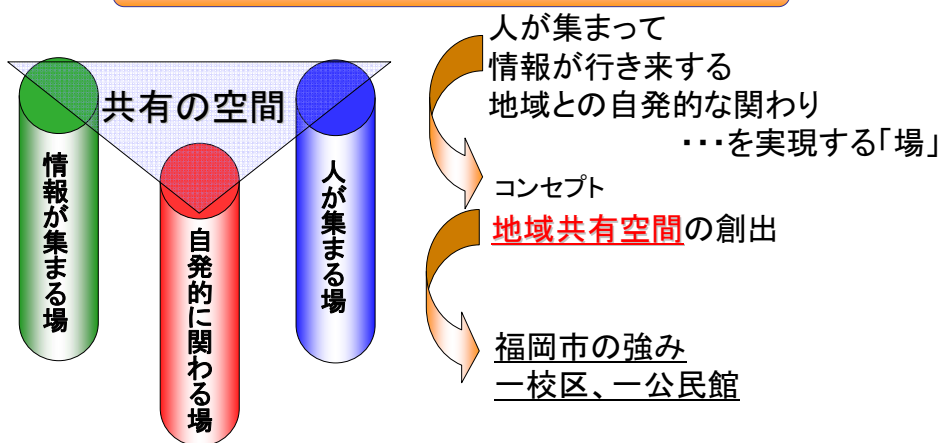


志縁のつながり：「一緒にやりませんか」



3つ目は「関係性」です。地域との関わり方を「負担・義務」と捉えるのではなく「一緒にやりませんか」という各自の思いに基付いた、自由な取り組み(志縁)へと変えていくということです。

「まちのコラボステーション」の誕生



「社会教育施設」から「地域の居間」へ

3つのキーワードから、「まちのコラボステーション」が誕生しました。福岡市の強みである一校区・一公民館を活かした、地域の居間づくりを目指したのです。

「まちのコラボステーション」とは

運営の一例

- 運営委員会：3～10名程度の委員
(固定はしない。必要に応じて入れ替わる)
- 運営費用：運用費＋使用料
(旧町内会費に相当)
- 管理人：3名 地域から選出
- 行政の支援：区役所の地域連携・交流課※の専門職員が各地域を担当



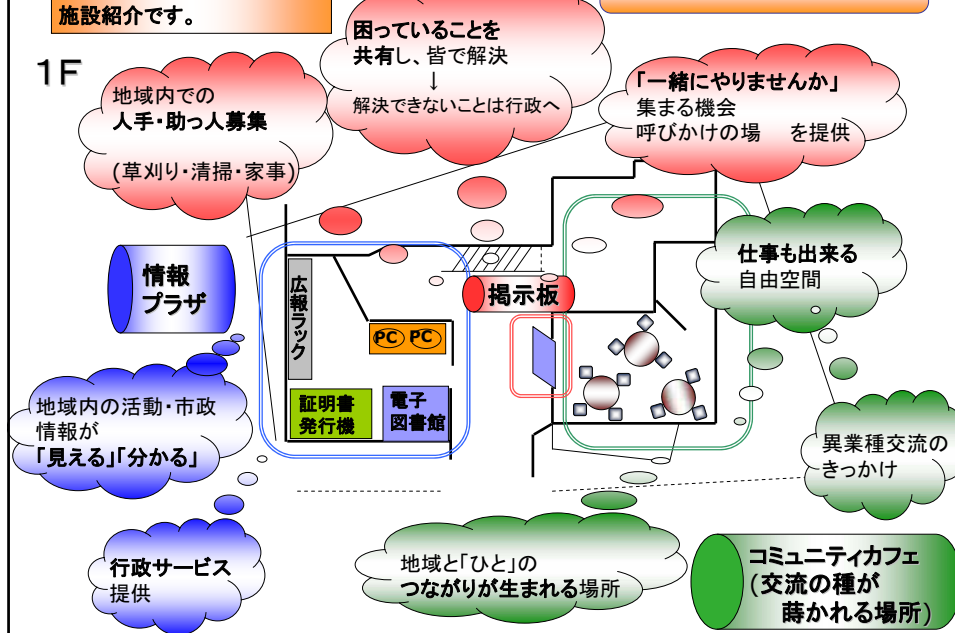
※地域連携・交流課：管理人のサポートや他地域の活動・市政情報の提供を行う

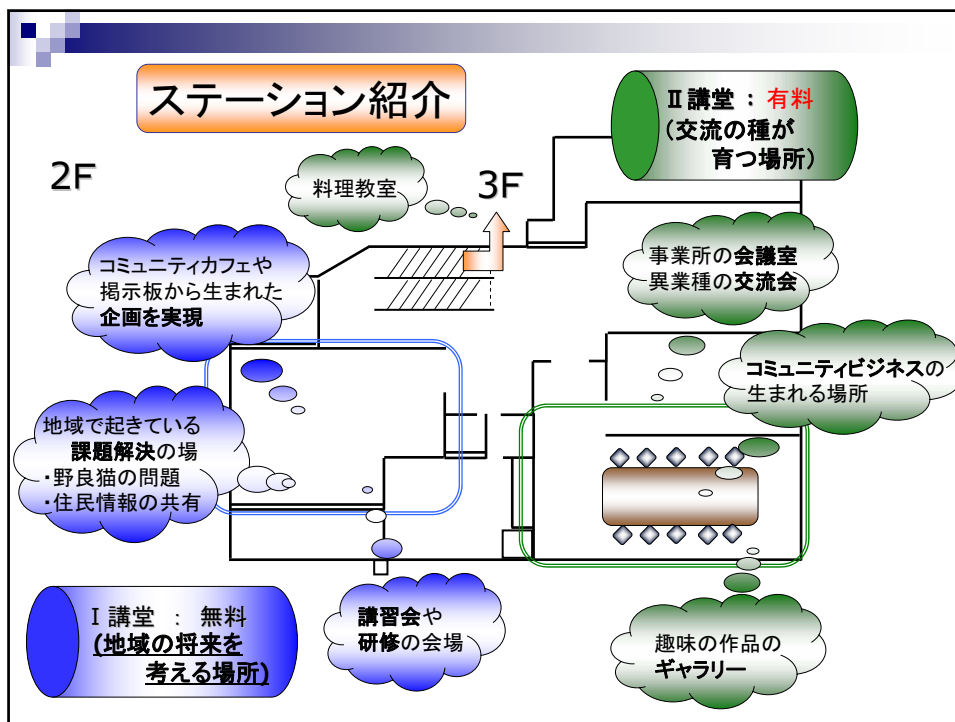
「まちのコラボステーション」の運営例です。行政は支援に努め、あくまで地域の主権で企画・管理を行うものです。

「まちのコラボステーション」の施設紹介です。

ステーション紹介

1F





ステーションを巡る物語 I：多様性

33歳女性、1児(2歳)の母親の場合 (本文は次頁)

育児ストレス等に悩む日々

コラボステーション・カフェの存在に気付く

読書会との出会い

新たな居場所づくりのきっかけに

「場」の存在意義は、無限大

「まちなのコラボステーション」から生まれた物語を3つ、ご紹介します。
第1話は、夫の転勤で中央区に転入して来た母親が、好きな読書を通じて新たな居場所を見つけたという内容です。

ステーションを巡る物語Ⅰ：33歳女性、1児の母

夫の転勤及び出産にあわせて仕事を辞め、福岡市中央区に転入した。両親は遠隔地に居住しておりまだ働いている。子どもは2歳。毎日、「いやだ、いやだ」と癪癪を繰り返して、どうしたらいいのかわからない。

夫は忙しく、早朝出勤、深夜帰宅で、土日の仕事も多い。話を聞いて欲しいが、夫も疲れているようなので話すことができない。夫には会社で話す同僚や友人がいるが、私には挨拶する人さえもない。子どもはかわいいけれど、ずっとマンションの一室に2人きりで、社会との接点はない。

そんなある日、買い物帰りにベビーカーを押しているとカフェを見つけた。コラボステーションというところらしい。掲示板もありカフェでコーヒーを飲みながら見てみると、いろいろな記事が掲載されている。・・・「はじめての読書会のあんない」。何も仕事をしていなくても私は読書だけはしている。開催は来週の水曜日10時。参加資格は、基本的に本好きであれば誰でも参加可能とのこと。電話で連絡してみると「子連れでも結構ですよ。是非参加ください」ということだった。

開催場所のコラボステーションに行ってみると参加者は4人、主催者1人だった。互いに本の内容を紹介するのだが好きな本のことを話すときは本音が出るようで、初対面なのに打ち解けて盛り上がった。世代の異なる人と同じ本というフィルターを通してだけで、人とも打ち解けられるのだと感動すら覚えた。1時間あまりで会はお開きになったが、まだ参加しようと思った。妻でも母でもなく、人として参加できることに喜びを感じた。

子どもはあいかわらず癪癪をおこしているものの、気にすることが少なくなった。以前との違いって、自分の居場所ができたってことだと思う。コラボステーションは居場所づくりのきっかけのひとつになったのかもしれない。

ステーションを巡る物語Ⅱ：認知性

19歳男性、一人暮らしの専門学校生の場合（本文は次頁）

自分の将来の心配、社会への不安感

身近な情報拠点：コラボステーションの存在

掲示板に投稿、講座への参加

“住んでいる地域”の中での新しいつながり

「見える」「知りたくなる」から始まった



第2話は、中央区で一人暮らしをしている専門学校生が、学校の友人を通じてコラボステーションの存在を知ります。掲示板を介して、学校とは別の、「住んでいる地域」でのコミュニティを見つけようという内容です。

ステーションを巡る物語Ⅱ：19歳男性、専門学校生

こんな高齢化社会の中で、将来はどうなるのだろうか？という漠然とした不安を抱えていたのですが、そんなときに学校の友人から、コラボレーションのことを聞きました。早速行ってみたところ、その掲示板には、学校では得られない色々なおもしろい情報がありました。

例えば、“今日は何を食べようかな”とつぶやくと、地域の人たちが投稿している、安くてうまい飲食店の口コミ情報が見られたり、自炊のための美味しくて簡単に作れる料理やその材料が買える店が見られたりします。この前は偶然、自炊教室が開かれることを直前に見つけ、参加しました。その他にも、地域における情報が自分向けに？と錯覚するほどリアルタイムに配信されます。

どうやら、自分の登録した情報や利用履歴に合わせた内容で配信されているようです。そのためか、色々な楽しい講座を見つけて参加することができ、今まで顔を見知っている程度だった近所の人と偶然一緒になり、そこで仲良くなったりすることがありました。さらに、実はオセロがうまい自慢大会を管理人さんの協力の下、掲示板に投稿したところ、意外と12名もの参加者が集まり、大盛況に終わりました。

こういう風にコラボレーションでは地域の人たちと新しいつながりがどんどんできていくので、以前感じていた不安が薄らぎ、地域の中で自分の能力をいかせる仕事を探していければいいなあと思うようになり、未来が少し開けた感じがしています。

ステーションを巡る物語Ⅲ：関係性

76歳、妻と離別。生活能力の無い、孤立した男性の場合
(本文は次頁)

家にいる寂しさ、地域との関わりは拒否



「家の片付け、手伝います」の案内を知り
ステーションへ



協力関係の成立



近所の小・中学生の通学時に挨拶するようになった
意思に基づいた、生活エリアの拡大



第3話は、独居高齢者が主人公です。家事能力に乏しく、地域とも関わりを持って来なかったこの男性が、「自宅の片付け」というきっかけから、地域の人と協力関係を築いていきます。生活の範囲を広げると共に、地域のこと自然と関わるようになったという内容です。

ステーションを巡る物語Ⅲ：76歳男性、独居高齢者

ささいなことで喧嘩になり、はずみで「出て行け！」と言ったら本当に家を出て行った。謝ったら許してやろうと思っていたが、戻ってきたのは郵送で送られた離婚届だった。

何もかもが嫌になってくる。家事のほとんどを妻がしていたので何をどうしていいのかわからない。食事はカップ麺とスーパーの惣菜のみだし、何もする事がないのでお酒ばかり飲み、家も荒れ放題、当たり前だ。なぜなら、ごみの分け方がわからないからだ。

ある日、郵便受けにコラボステーションのチラシが入った。「家の片付け、手伝います」この家をどうにかして欲しい。そんな思いで連絡をとってみた。1日、2人手伝いに来て5千円らしい。格安だ。60代とおもわれる男女2人が当日やってきた。恥ずかしかったが、半年前に妻が家を出たこと、ごみをどう出したらいいか解らないことを話した。笑われるかと思ったら「そんなこと多いですよ。認知症のご家族からの依頼も多いですね。気にされなくて結構ですよ。」と言われた。2人が片付けてくれるのかと思っていたが、私も片付けないといけならしい。「自分で片付けが出来るようになる事を目的にしている」とのこと。福岡市のごみ分別をレクチャーされながら一緒に片付けていった。1日でごみが16袋にもなった。

妻にはほとんど言わなかった「ありがとう」という言葉を2人に言った。「何でも困った事があったらコラボステーションに来てみませんか、何かの手助けになると思いますよ。私たちも一緒に手伝ってくれる人を募集しているので機会があったら見に来て下さい」と言ってくれた。半年ぶりに会話しただけに親近感を覚えた。彼らを見ていると自分も誰かの力になれるのではないかと気づかされ、小中学生に挨拶もするようになった。

「まちのコラボステーション」とコミュニティ

「公設 地域営」の施設

あなた次第 (as you like)

コミュニティの姿
||
地域の取り組み

「まちのコラボステーション」の
在り方

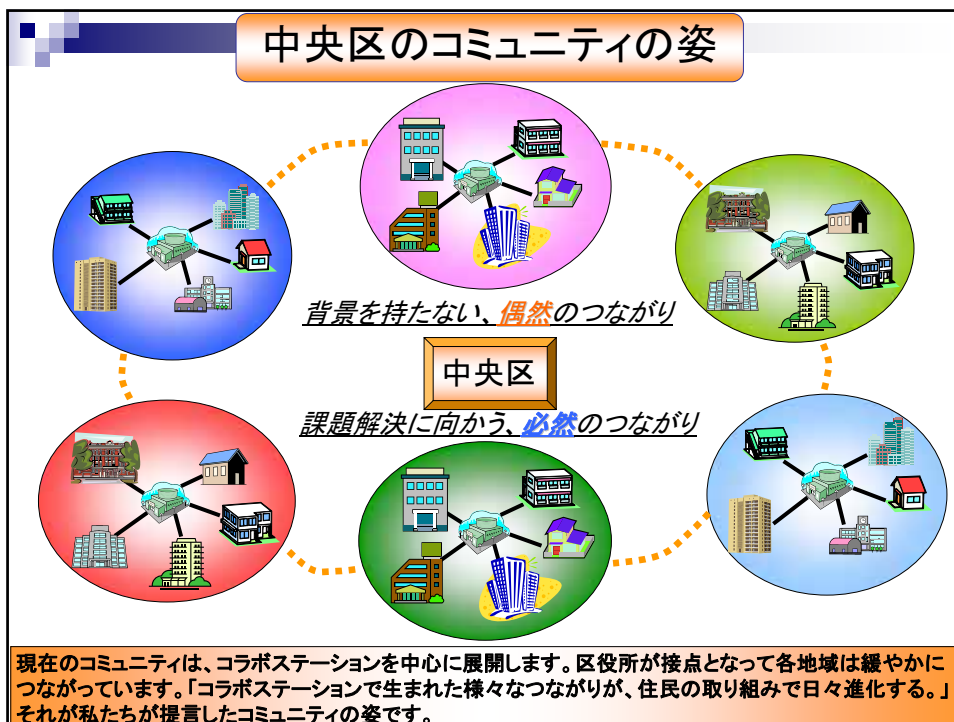
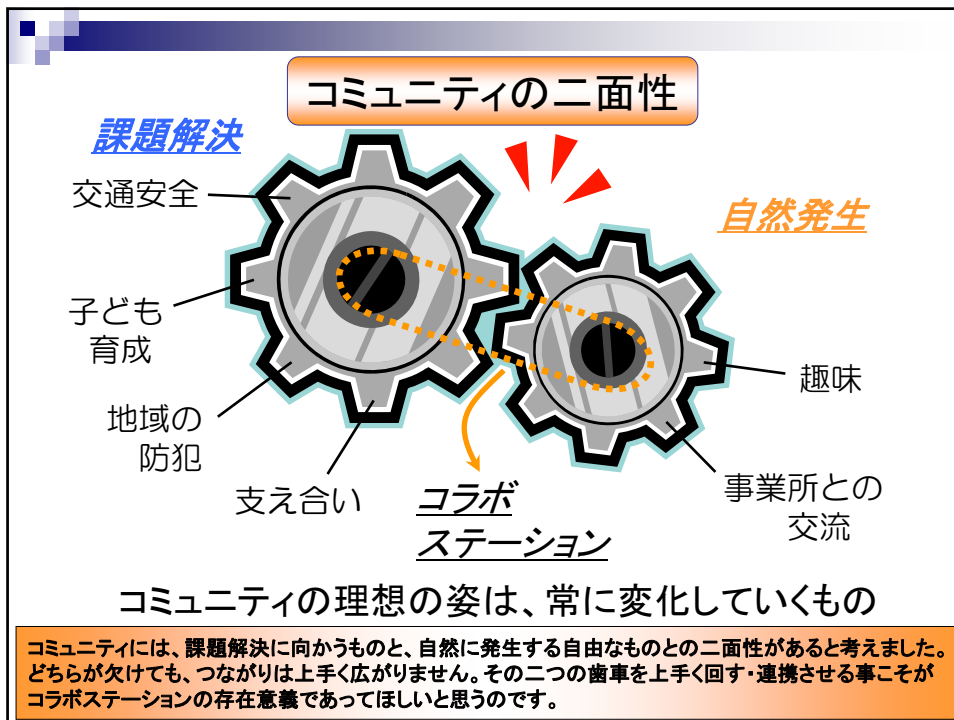


私たち次第 (as we like)

防災・避難訓練、地域の清掃、 etc...



公設・地域営の施設であるステーションは、そのまま地域の取り組みを反映します。「あなた次第：as you like」「私たち次第：as we like」の運営から、新しいコミュニティが築かれていきます。





チャリティ 中央区

ずっと活力が
続くまち

エナジー

環境に
やさしいまち

エコ

チャリティ 中央区

提言策定の経緯

2011年当時、中央区では放置自転車や自転車事故が多発し、大きな課題として挙げられていました。

一方で、天神地区は他の地域から自転車で訪れやすい場所にあるという特徴を持ち、また、自転車は「クリーンでエコな乗り物」、「小回りが利く便利な乗り物」、「運動を要するため健康的な乗り物」といったメリットを持つ乗り物とも考えられていました。

そこで私たちは、自転車の持つこのメリットに着目し、「乗りやすい、止めやすい、歩きやすい」をコンセプトに、安全性を保った上で自転車を生かした回遊性の高いまちづくりを推進することを考えました。

目標の達成に向け、メンテナンススタンドを併設した駐輪場や、自転車専用レーンなどハード面の整備を行いました。また、自動車の乗り入れを規制する「自転車天国」や、レンタサイクル、自転車保険、マナー講習会など制度面での充実も図りました。

そして現在、自転車推進施策は成功し、中央区はクリーンで回遊性が高いまちとなりました。また、結果として自転車に乗るといった運動が区民の生活の中に組み込まれることで、生活習慣改善にも役立ち、メタボ率の減少にも繋がりました。

(スライド No)

1. 経緯	1 ~ 9
2. 取り組み	10, 28 ~ 29
① 「止めやすいまち」を目標に	11
・ 駐車場・メンテナンススタンドの整備	12 ~ 14
・ 駐車場案内	15 ~ 16
② 「乗りやすい」「歩きやすい」を目標に	17
・ 自転車専用レーン・アーケードの設置	18 ~ 21
・ チャリ天国	22 ~ 23
・ チャリバス・チャリ地下鉄の運営	24
・ レンタサイクルの運用	25
・ 講習会	26
・ 自転車保険の推進	27
3. 結果	30 ~ 32

5つの未来への挑戦 エナジーとエコと絆 中央区
3 G eco & energy

乗りやすい とめやすい 歩きやすい
チャリシティ 中央区



2036

1

25年前(2011年)
「中央区のまちづくりにおいて、このままでよいのかな?と思うこと」をきっかけに
した話し合いのなかで・・・

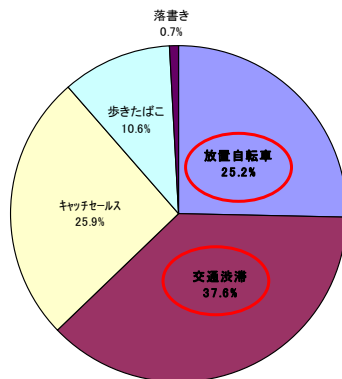


放置自転車の状況はこのままでよいのか?どうかしないと
という意見が出されました。

2

25年前の天神の課題

【天神が抱えている問題で緊急に解決すべきなのは？】
 天神サイト天神白書 2004年2月1日～2月29日実施のアンケートより



天神の緊急的な問題点：放置自転車25.2%、交通渋滞37.6%
 =6割強の人が交通問題の解決を望んでいる

3

25年前の自転車問題

- 放置自転車

$$\frac{\text{放置台数 } 3028 \text{ 台}}{\text{乗り入れ台数 } 13644 \text{ 台}} = 22.2\%$$

- 自転車事故(歩行者の危険)

あんしん歩行エリア一覧表

No.	地区名	市町村名	面積 (km ²)	事故発件数 (H16～18の平均)		事故密度 (件/km ² ・年)	
				全死傷事故件数	歩行者・自転車事故件数	全死傷事故件数	歩行者・自転車事故件数
1	薬院・警固地区	福岡市	1.10	321.3	116.7	292.1	106.1
2	博多駅南地区		1.34	208.7	61.3	155.7	45.8
3	長尾地区		0.91	151.0	41.7	166.7	46.0
4	城西区		0.70	119.0	51.0	170.0	72.9
5	西新・百道地区		1.10	117.0	44.0	106.4	40.0
6	姪浜地区		2.90	243.0	98.3	83.8	33.9

4

自転車の乗り入れを規制する



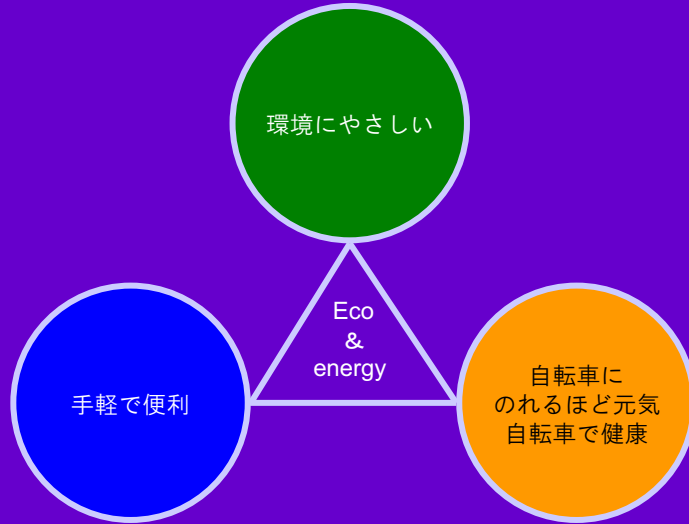
5

中央区は自転車で来やすいまちとも言える



6

自転車は . . .



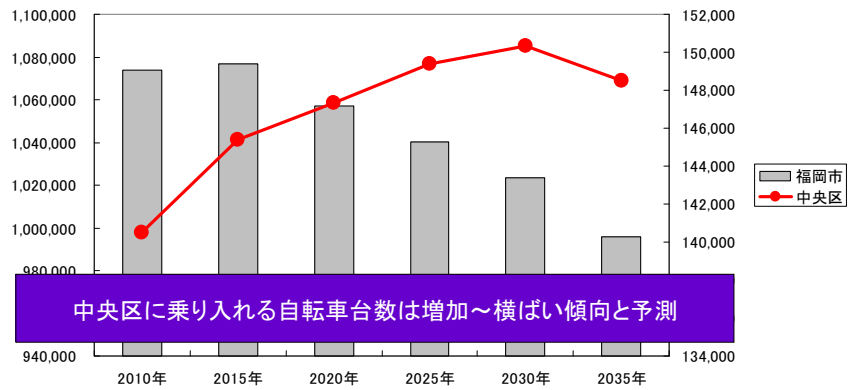
7

チャリのいいところを伸ばそう
乗りやすい・とめやすい・歩きやすい を目指そう



8

25年前に推計された自転車年齢人口



中央区に乗り入れる自転車台数は増加～横ばい傾向と予測

国立社会保障・人口問題研究所：日本の市区町村別将来推計人口より
(自転車年齢人口を15歳～69歳と設定)

9

資料出典 国立社会保障・人口問題研究所の資料を加工

乗りやすい とめやすい 歩きやすい

自転車利用促進の取り組み

10

とめやすい



駐車を確保し、とめやすく整備



駐輪場使用の増加により違法駐輪が減る

11

駐輪場の確保・とめやすく整備

- 民間駐車場が駐輪スペースを設置
- **附置義務**により各施設、路面店などが駐輪場を整備

附置義務駐輪場とは...

「福岡市自転車等駐車場の附置及び建設奨励に関する条例」

駐車場整備地区、商業地域及び、近隣商業地域で、一定規模以上の

建築物を新築・増築等する際は、駐車場・駐輪場の附置を義務づける条例

により設置された駐輪場

※2015年より付置義務基準強化

- 目的地への駐輪が容易になった。
- 路上駐輪場が廃止され、景観も良くなった。

12



地図出典: Yahoo Japan

地下駐輪場の整備

- 地下駐車場は入れやすく、出しやすく整備

メンテナンススタンド

- 大規模駐輪場にはパンクなどをすぐに修理できるよう、メンテナンススタンドを設置
- 駐輪中に無料で空気入れもしてくれる

→ 大規模駐輪場の利用が促進された。

14

駐輪場案内

- どこに駐輪場が空いているかが分かるように、駐輪場の案内を設置
- 携帯電話からでも空車状況がわかるシステムを用いた

15



中央区の自転車関連整備図
緑色: 自転車専用レーン
水色: 自転車天国帯
青色: メンテナンススタンド
ピンク色: 駐輪場の案内掲示

16

地図出典: Yahoo Japan

乗りやすい 歩きやすい



自転車・歩行者道路環境整備

マナーアップ講習



自転車利用の増加・自転車事故の減少

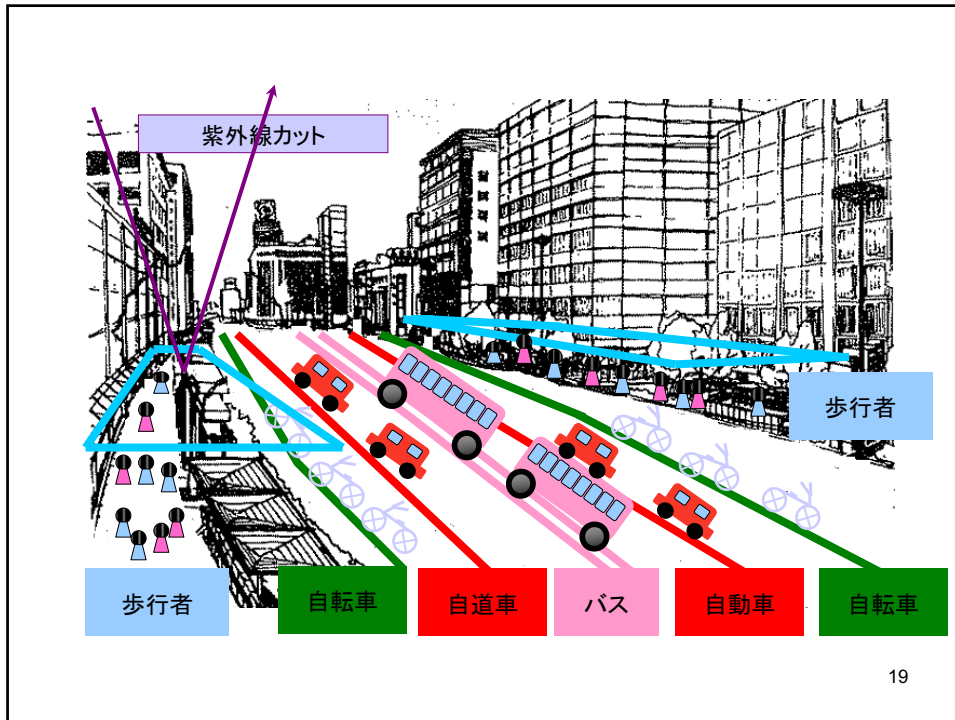
17

チャリ専用レーン・アーケードの設置

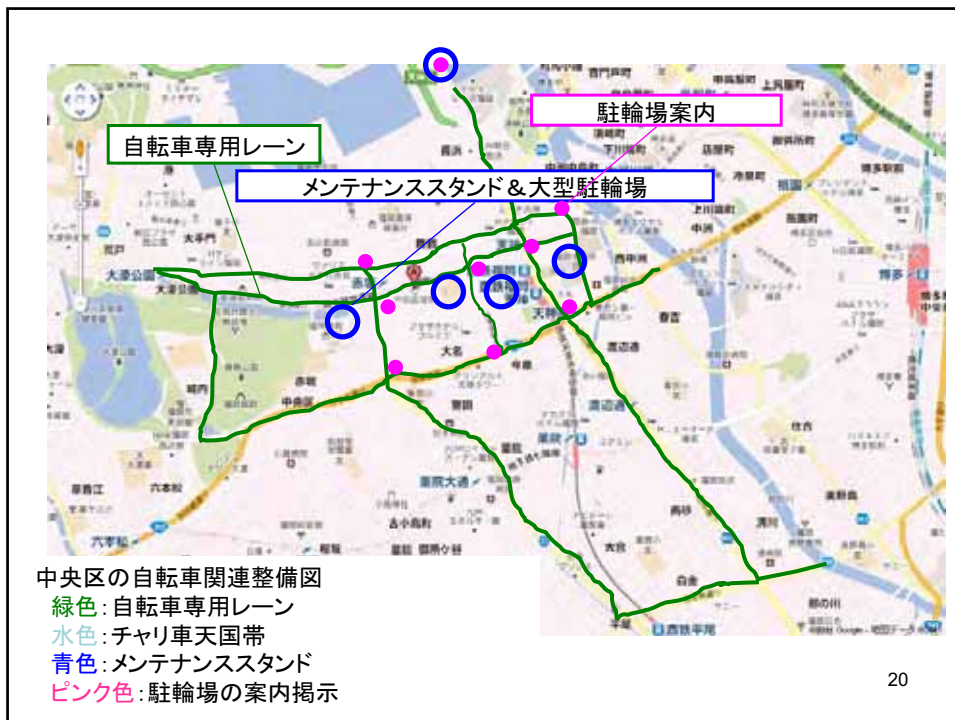
- 商業地区の回遊＋大濠公園、福岡市美術館、舞鶴公園へのアクセスを考えて設定
(現在、キャナルシティ及び渡辺通一丁目経由で博多駅まで延伸中。また、チャリ30分圏内まで延伸予定)
- 専用レーンには天候を気にしなくて良い、紫外線防止効果のあるアーケードを設置した。

→自動車通勤から自転車通勤に切り替える人が増えた。
→自転車と歩行者を分離することで歩きやすくなった。

18

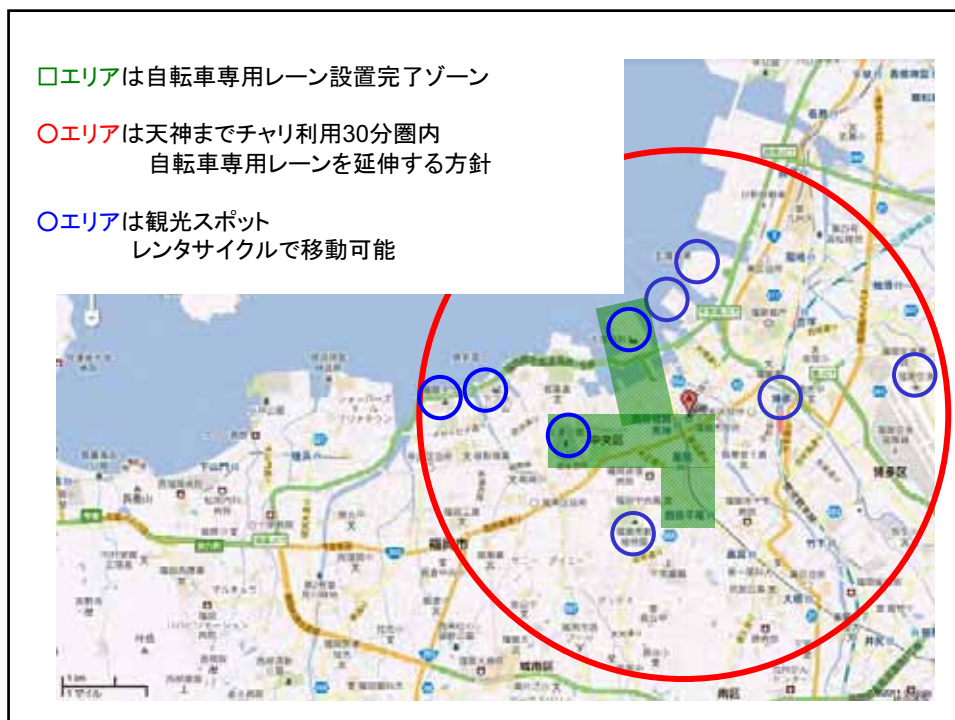


19



20

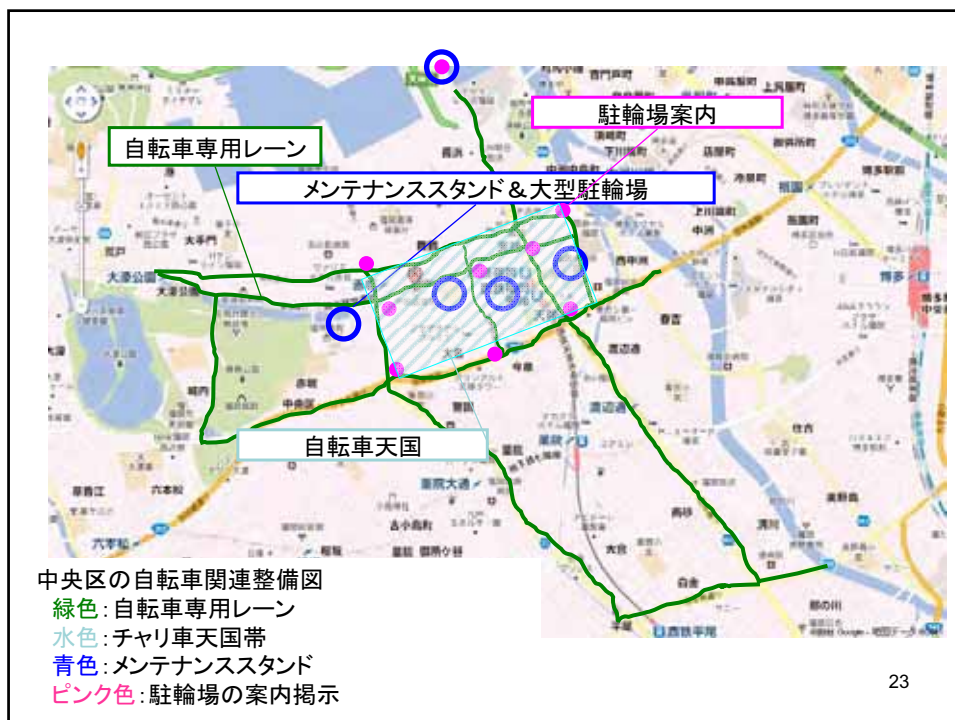
地図出典: Yahoo Japan



地図出典: Yahoo Japan

チャリ“天”

- 天神および大名の買い物でにぎわう街は自動車の場所を土・日・祝のみ自動車の乗り入れを制限→自転車天国
(バス・障がい者車両および緊急車両のみは乗り入れできる)



地図出典: Yahoo Japan

チャリバス・チャリ地下鉄

- 自宅←→自転車専用レーンをつなぐために、バス、地下鉄の公共交通機関の一部をチャリ専用にして、運行した
- 商業地域(天神・大名)周辺に循環チャリバスを運行して、回遊性を高めた
- 電動車いすや手押し車など身体障がい者や高齢者の移動手段として活用されているものも乗車・降車がしやすいものにした



写真出典 福岡県警HP

レンタサイクル

- 観光などで来福した人も気軽に回遊できるようにレンタル用自転車を設置
- 観光スポットまで自転車専用レーンを延伸することにより、買い物だけでなく、サイクリングで観光もできる
- レンタサイクルは違法放置自転車をわかりやすい配色に塗り替えてリサイクルし、レンタサイクルの認知度も上げる。

25

講習会

- チャリノリ講習
自転車が乗れるようになるための講習
- チャリマナー講習(小学校・公民館)
マナーアップを図るための講習

26

自転車保険

- メンテナンススタンドに自転車協会の事務所を設置、保険加入などの手続きが可能
- 万が一の事故、チャリの紛失に備えて、自転車購入時に保険加入の徹底
- 保険に加入することで、特典がある
 - 駐輪場が無料になる
 - 保険料は事故・放置などの違反がなければ割安になる

27



中央区の自転車関連整備図
緑色: 自転車専用レーン
水色: 自転車天国帯
青色: メンテナンススタンド
ピンク色: 駐輪場の案内掲示

28

地図出典: Yahoo Japan

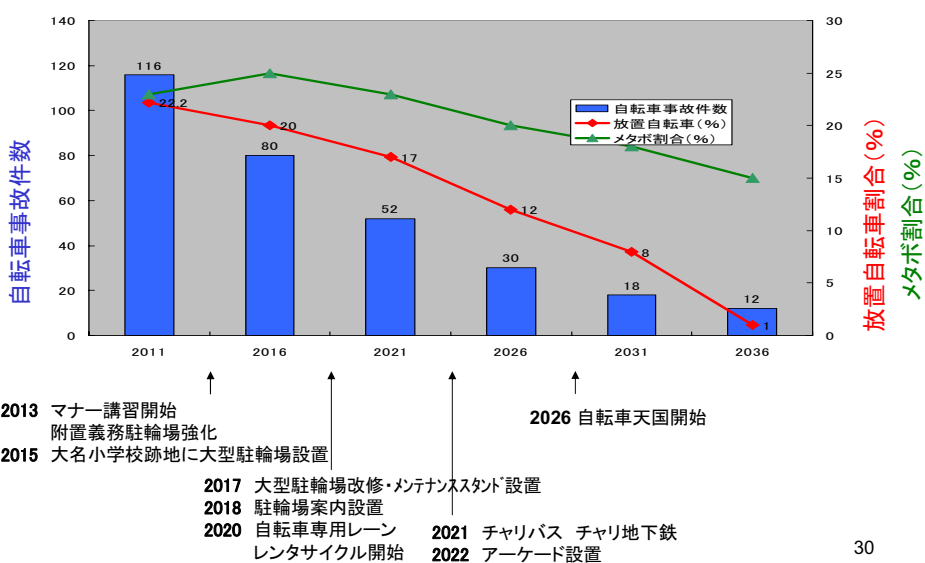
駐輪場使用の増加

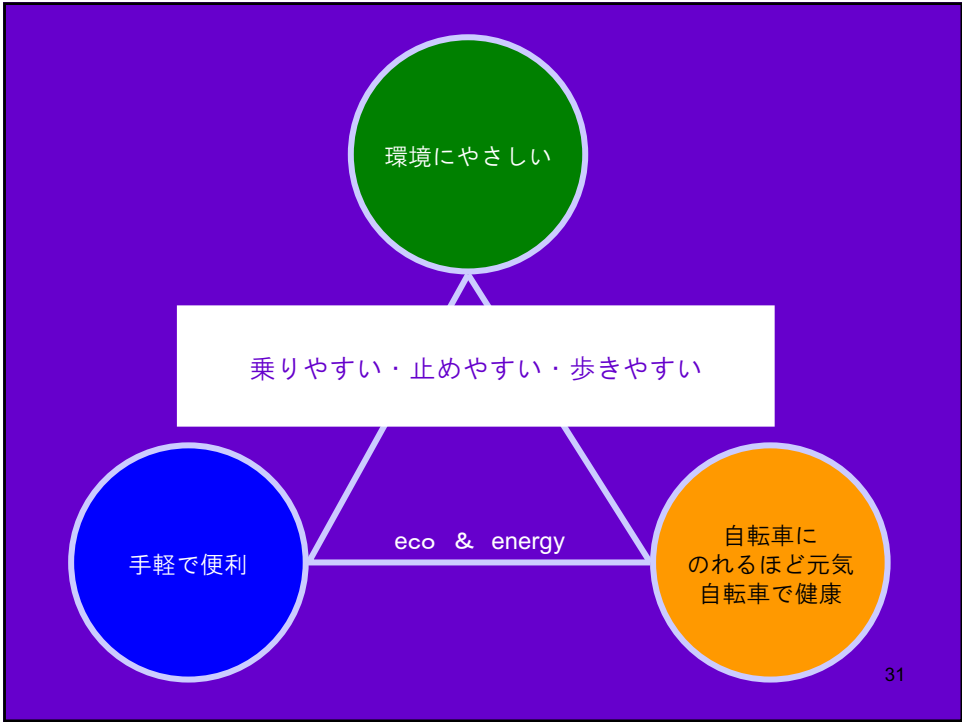


自転車人口の増加

29

25年前からのデータ推移





5つの未来への挑戦 エナジーとエコと絆中央区

3 G eco & energy

乗りやすい とめやすい 歩きやすい
チャリシティ 中央区

F i n

2036

32



写真出典「この木なんの木みんなの木！BLOG」より

緑と憩いとエコの空間 中央区

提言策定の経緯

2011年、中央区は天神を中心に大きな繁華街を擁し、その魅力は九州各地から買い物客を呼び寄せ、九州随一の賑わいを誇っていました。

天神の隆盛は続くと思われていましたが、九州新幹線と新博多駅ビルが開業すると、買い物客を奪われ、軒並み売り上げを減らすこととなりました。このほかにも、大型ショッピングセンターの郊外出店やネットショッピングの進展が追い打ちを掛けました。

一方で、人や物の集積は、自動車によるCO₂排出問題や慢性的な交通渋滞、ヒートアイランド現象による集中豪雨など、様々な環境問題を引き起こしたため、福岡市の活力源たる中央区がこれからも九州のトップランナーであり続け、また、より住みよい街にするためにはどうしたら良いか、あらためて考え直さなければなりません。

そこで私たちは、この2つの課題を解決するために、環境施策を徹底的に推進することで環境改善はもちろん、中央区に新しい不変の魅力を創り出そうと考えました。

まず、市役所本庁舎を移転して公園として整備し、都心部をグリーンベルトとして集中緑化、自然エネルギーを導入して効率的にエネルギーを利用しました。

次に、交通体系は路面電車を取り入れて自動車を乗り入れ規制し、保水性道路で街を冷やし、雨水貯水槽で水害を防止することにしました。

その結果、一連の環境施策が見事成功し、中央区は緑と憩いのエコ空間として生まれ変わりました。

その魅力は国内外に伝えられ、緑と商業施設が調和した美しい街として、市民や観光客に広く愛されています。

(スライド No)

- | | |
|--------------------|-------|
| ① 福岡環境見本市の視察団が到着 | 1-3 |
| ② 路面電車を導入 | 4-8 |
| ③ グリーンベルトで都市環境を改善 | 9-11 |
| ④ 最新の環境施策を次々に導入 | 12-16 |
| ・バイオマスエネルギー | |
| ・スマートグリッド方式 | |
| ・保水性道路 | |
| ⑤ 天神セントラルエコパークの整備 | 17-19 |
| ⑥ クリーンエネルギーの活用 | 20-23 |
| ・風レンズ風力発電とグリーンホール | |
| ・太陽光発電 | |
| ・コージェネレーション | |
| ・地下貯水槽 | |
| ⑦ 警固屋台公園と屋台リーグで活性化 | 24-27 |

緑と憩いとエコの空間 中央区

矢動丸尚憲 村山木綿子
牛島奈緒美 田中里枝
森内亜弓



～ はじめに ～

私たちの提言は、未来の中央区の観光案内風景をイメージして作りました。
時は2036年9月6日、福岡環境見本市が開催され、世界各国から視察団が来福します。
見本市ガイドがご案内いたしますので、皆さんも緑あふれる旅にご参加ください。

時刻	場所	見どころ
10:00	福岡空港	都市高速経由 水素バス利用
10:30	↓ 北天神	
	↓ 路面電車に乗り換え	
	↓ ↓ ↓ ↓	
10:50	天神セントラルエコパーク	中央区のシンボルです。 市役所本庁舎を須崎ふ頭に移転して、公園を拡充しました。 環境見本市の会場「グリーンホール」を設置しています。
18:00	↓ ↓ ↓ ↓ 誓固屋台公園	一日、おつかれさまでした。 福岡名物の屋台公園にお連れします。お楽しみに。 「屋台リーグ」でしのぎを削る各屋台で、博多ラーメンなどの名物料理をご堪能下さい。

時は2036年9月6日。
福岡市では福岡環境見本市が開催されています。
世界各国の視察団は、ガイドの案内で
水素バスに乗り、会場に向かいます。



写真出典
・壁紙.com(写真部)
・東京都市大学グループ 学校法人「五島育英会」JHP



福岡環境見本市

街のいたるところで、視察団を歓迎する
プラカードが掲げられています。

福岡見本市
歓迎のプラカード

イラスト出典 environment-illustration.com より

視察団一行は、環境問題を解決するために導入されたという「路面電車」に乗り換え、街並みを見物することにしました。






25年前の福岡市

- 自動車による慢性的な交通渋滞
- CO2排出問題
- ディーゼル粉塵による大気汚染
- ヒートアイランド現象の深刻化

→

問題解決のため！

- 都心部の緑化推進
- 車両乗り入れ規制
- 路面電車
- 自然エネルギーの導入

写真出典
MAKOTO's HOMEPAGE「LRTと路面電車のページ」より

路面電車 (Light Rail Transit)



環境にやさしい乗り物

- 自動車より環境負荷が小さい。
- 他の公共交通よりも建設コストが安い。
- 待たずに乗車できて、乗り降りが容易。

路面電車は、自動車よりも環境負荷が小さく、建設コストが安いなど、「環境にやさしい乗り物」です。

写真出典
長崎電気軌道株式会社HPより

路面電車 (Light Rail Transit)



パーク & ライド

- 自動車の乗り入れ規制 → 規制エリアのふちに駐車場を設置
- 駐車場 ⇔ 路面電車の乗り換え (パーク&ライド)



天神中心部は、環境保全のために自動車の乗り入れを制限しているので、駐車場から路面電車へスムーズに乗り換えできるよう「パーク&ライド」方式を導入しました。

写真出典
広島電鉄株式会社HP より

路面電車路線図



路線は、西鉄の100円バス路線を受け継ぐかたちで設定したことで、乗客数の安定確保につながっています。また、ノウハウを持つ西鉄に協力を依頼して、市と官民協働で経営しています。

地図出典: Google, 地図データ ZENRIN

路面電車 (Light Rail Transit)



「環境整備料」の 徴収

- 運賃に「環境整備料」を加算して徴収する。
- 駐車料金に駐車車両の環境負荷に応じた「環境整備料」を加算して徴収する。
- 環境整備事業の独自財源に

このほか、路面電車の運賃や自動車の駐車料金に加算して徴収する「環境整備料」制度を導入し、環境整備事業の独自財源としました。

写真出典
MAKOTO's HOMEPAGE「LRTと路面電車のページ」より

グリーンベルト



ビルの寿命は60年 → 長寿命化が必要

建物に

- 壁面緑化
室内温度が外気温より、5～10℃低くなる。
- 遮熱塗料の塗布
表面温度が最大12℃低くなる。
- 壁面太陽光発電

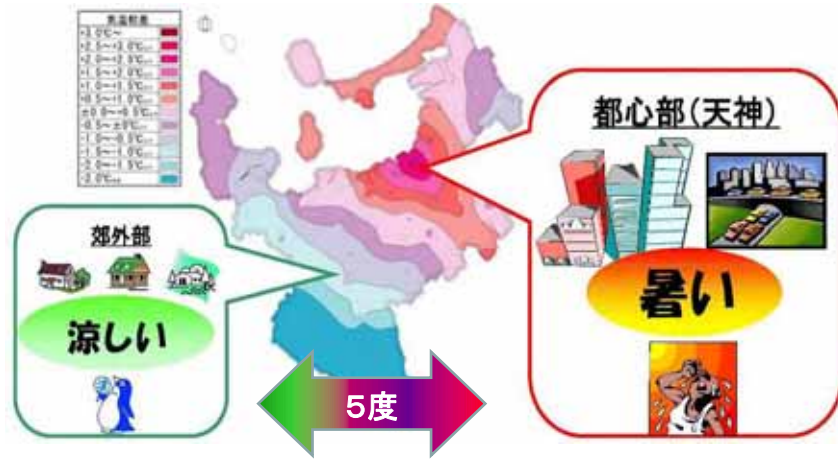
街路に

- 常緑樹を追加植樹
- 自販機の設置見直し

天神から半径400Mの地域を「グリーンベルト」と呼び、地域内の建物には「壁面緑化」や「遮熱塗料の塗布」を義務付けと同時に費用助成を行いました。また、街路には「常緑樹を追加植樹」するなどの環境改善施策も実施しました。

写真出典 tozaki traduction より

福岡市都心部のヒートアイランド現象



これは、グリーンベルト設置前の「福岡市の夏場の気温較差(2006年)」を示した図ですが、都心部と郊外部で5°Cの較差が生じていることがわかります。この較差がゲリラ豪雨や水害などの原因であることを踏まえて、その対策としてグリーンベルトが設置されたのです。



バイオマスエネルギー



- ・ 天神地区で排出された生ゴミを利用
- ・ かつては廃棄物として処理していた生物資源をエネルギー源として発電や熱源として再利用
- ・ 地球規模で、CO2バランスを壊さない持続性のあるエネルギー

須崎ふ頭には、天神地区で排出される生ゴミを発電に再利用できるバイオマスエネルギー工場を建設し、グリーンベルトへの電力供給を開始しました。

イラスト出典 資源エネルギー庁HP より

スマートグリッド方式



人工知能や情報通信機能を搭載した計測器を設置して、電力の需給を自動的にコントロールして全体を最適化

電力メーターに通信機能や機器の管理機能を持たせた、エアコンや照明、温湿度計の稼働状況を通信網で把握し、適切な電力配信を行う。

さらに、バイオマスエネルギー工場で起こした電力は、電力の需給状況を自動的にコントロールする「スマートグリッド方式」によって効率的に供給されています。

イラスト出典 「エレクトリックパークリサーチインスティテュート社」HP より

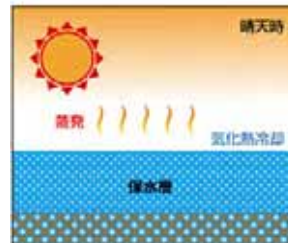
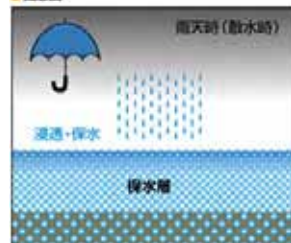
イムズとツインビルの奥に広がる公園 天神セントラルエコパーク



路面電車を「イムズ前」駅で下車した視察団一行の目に、
緑の公園「天神セントラルエコパーク」が飛び込んできました。

保水性道路

●概念図

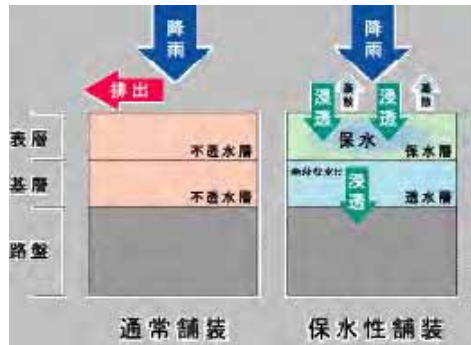


- グリーンベルト内の全ての車道に使用
- 雨などで蓄えた水分を晴れの日に蒸発させ、「打ち水」をしたときと同じように路面温度を低下させる。
- 夏季降雨後は、アスファルト舗装よりも
日中最高15~20℃路面温度が低下する。
- 「ヒートアイランド現象」「熱中症」の緩和効果が期待される。

天神セントラルエコパークでは、その環境を守るために、
夏季でも降雨後は大幅に路面温度を抑えることができる
「保水性道路」を使用しています。

16

保水性道路



吸収能力以上の余分な水は地中に浸透するため、

- ・ 豪雨時などに起こる下水や河川の氾濫防止
- ・ 植生・地中生態の改善などの効果がある。

さらに「保水性道路」は、豪雨時の下水・河川の氾濫防止などの効果があります。

17

イラスト出典「環境工学株式会社」HP より

天神セントラルエコパーク

ヒートアイランド対策の一環で、市役所本庁舎を須崎埠頭に移転し、跡地を公園として整備しました。一般市民や民間企業にも貸し出されています。



写真出典 福岡市HP「福岡ドーム」画像を一部加工
「九州大学流体科学研究室」HPの画像を一部加工

天神セントラルエコパーク



- ① 市役所の移転跡地を緑化しました。
- ② もとの天神中央公園です。川沿いにホールと風レンズ風力発電を設置しています。
- ③ 警固屋台公園が整備されています。

地図出典 ZENRIN 住宅地図(デジタル版)

視察団一行の目には、芝生の上で家族連れや買い物帰りの人たちが沢山くつろいでいる様子が広がります。



風レンズ風力発電 と グリーンホール



風レンズ風車

- ・ 弱い風速域からの発電が可能(通常の風力発電の2~5倍)
- ・ 騒音が小さい
- ・ 公園内の照明に使用

グリーンホール

- ・ 太陽光発電+コジェネレーションシステムを採用
- ・ 雨水利用
- ・ 500人収容可能

公園内は、弱い風力でも発電できる「風レンズ風力発電」で照明を点灯したり、太陽光発電やコジェネレーションシステムを用いた「グリーンホール」を設置する等、環境に配慮した設計になっています。

写真出典 福岡市HP「福岡ドーム」画像を一部加工
「九州大学流体科学研究室」HPの画像を一部加工

太陽光発電



枯渴することがない、地球に優しい自然エネルギー

地球上に降り注ぐ太陽エネルギーの1時間分の量は、世界全体が消費する1年間分のエネルギー量よりも多い。

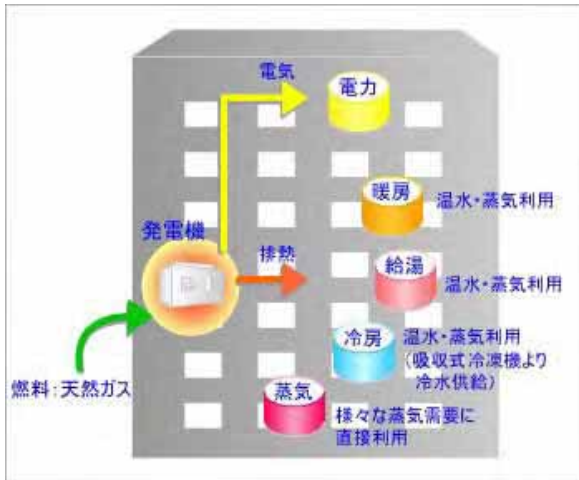
天神セントラルエコパークに必要な電力の殆どは、枯渴することがなく、地球に優しい太陽エネルギーを源にする「太陽光発電」によって賄われています。

22

イラスト出典 資源エネルギー庁HP

写真出典 eco-juku.com

コージェネレーション



1種類の一次エネルギー
(市ガス、LPGガス、
石油、灯油、重油)



2種類以上のエネルギー
を取り出す

Co(共同) -
Generation (発生)

さらに、1種類のエネルギー(太陽光)から2種類のエネルギー(電力と暖房)
を取り出す「コージェネレーション」システムが併用されています。

23

イラスト出典 東京ガスエンジニアリング(株)HPより

貯水槽



- ・グリーンホールの地下貯水槽
- ・雨水を貯水
→ 集中豪雨時の水害防止
- ・災害など非常時の飲用水としての利用
- ・消防用水、ホールのトイレ用水として
利用
- ・薬院新川への放流
(河川の浄化作用)

このほか、天神セントラルエコパークの地下には「貯水槽」が設けられており、
集中豪雨時の水害対策等のほか、隣接する薬院新川へ水を放流することで
河川の浄化に役立てられています。

写真出典 共同通信社



夜の天神 渡辺通りです。
緑がライトアップされ、幻想的な光景が広がっています。

25



警固「屋台」公園では、屋台が次々と開店しており、
巨大LEDスクリーンに山笠の映像が流れています。

警固「屋台」公園

警固“屋台”公園



- ☆ 福岡名物「屋台」の保護
公園周辺の屋台を誘導
- ☆ 衛生配慮
屋台用の水道光熱設備、トイレを完備
- ☆ 屋台の活性化（屋台リーグ）
スペース利用は**6か月更新制**で新規参入可

警固“屋台”公園は、規制等で減少傾向にあった屋台を保護し、福岡名物として存続させるために、課題の衛生面をクリアしたかたちで整備されました。
また、活性化のために、スペース利用を6か月更新とする「屋台リーグ」も導入されています。

Aリーグ 都心部の屋台公園

警固公園 今泉公園 清流公園

各公園へ利用申し込み
☞ 抽選で利用者決定

Bリーグ グリーンベルト外の屋台公園

各公園へ利用申し込み
☞ 抽選で利用者決定

屋台リーグ (6ヶ月)

営業開始

↓
随時人気投票

↓
人気投票中間発表

↓
最終結果発表!

各公園の上位店 = 更新営業

Bリーグから昇格

各公園の下位2店 = Bリーグへ

新規参入 = 抽選で各公園1店

各公園の上位店 = 更新営業

各公園の上位2店 = Aリーグへ!

Aリーグから降格

各公園の下位3店 = 公園外へ

新規参入 = 抽選で各公園1店

「屋台リーグ」は、各屋台を条件の良し悪しで分けた2つのリーグに出店させた上で、人気の上位店は上位リーグに、下位店は下位リーグに移動させて競わせたり、新規参入枠を設けることで、活性化を図る仕組みになっています。

緑と憩いとエコの空間 中央区（シナリオ）

プレゼン用のシナリオです。スライドと照らし合わせながらお読み下さい。

スライドNO. 1～2

スライドNO. 3

ナレーション

2036年9月6日。

福岡空港には今日開催される「福岡環境見本市」のために、世界各国から次々と視察団が降り立ちました。

あいにく、この日の気温は32度と猛暑日。視察団は急いで、送迎用の水素バスに乗り込みます。

水素バスは一路、会場の天神に向けて出発。都市高速を天神北ランプで降りて、北天神の駐車場に駐車。視察団もそこで下車しました。

すると、路面電車が音もなく、視察団の前に走ってきました。

スライドNO. 4

見本市ガイド

みなさん、ようこそ福岡にお越しくださいました。私は「福岡環境見本市」のガイドです。いまから、グリーンベルト内を見学して頂きながら会場に参ります。それでは路面電車にお乗りください。

視察団

ほ～！路面電車ですか。福岡市では何年も前に廃止されたと聞いておりましたが、どうして、また路面電車を走らせることにしたのですか？

スライドNO. 5

見本市ガイド

それではまず、路面電車導入の経緯をご説明いたします。

かつて、福岡市中心部は、自動車による慢性的な交通渋滞やCO2排出問題、ディーゼル粉塵による環境汚染、ヒートアイランド現象などが深刻化しておりましたので、その対策として環境負荷が少ない路面電車を導入することにしました。

電車は屋根に太陽光パネルを設置しており、電気は自給自足です。

また、一帯の緑化推進、車両乗り入れ規制や自然エネルギーの導入を組み合わせることで、環境は劇的に改善しました。

スライドNO. 6

見本市ガイド

昭和54年まで福岡市でも走っていた路面電車。

最新型は「Light Rail Transit」と呼ばれ、「環境にやさしい乗り物」として注目されました。

路面電車は、Co2の排出量が自家用車の1/6、乗合バスの1/3と少なく、1kmあたりの建設コストは、地下鉄の200億円、モノレールの100億円に対し、路面電車は10~20億円と安く、その上、乗客は待たずに乗車できて、乗り降りが容易など、数多くのメリットがあります。

スライドNO. 7

見本市ガイド

併せて、障がい者や高齢者など一部を除いて、グリーンベルト内へ環境負荷が大きい自動車の乗り入れを規制して、グリーンベルトのふちに駐車場を設けることにしました。

そこに路面電車の駅を隣接させて、車から路面電車への乗り換えをスムーズに行う「パークアンドライド」方式を実現しています。

スライドNO. 8

視察団

へえ〜。路面電車はどこを走っているんですか。

見本市ガイド

路面電車は、かつて西鉄が運行していた「100円バス」がグリーンベルトの乗り入れ規制で廃止されたため、この路線を受け継ぐ形で設置しました。

これにより、地下鉄など他の交通機関と競合することなく、安定した利用者数が確保できていますよ。

視察団

路面電車は福岡市が単独で運営しているのですか。

見本市ガイド

いいえ。西鉄には路面電車運営の実績もありますので、そのノウハウを生かしてもらうために経営に参画してもらっており、官民協働経営です。

スライドNO. 9

見本市ガイド

さらに、路面電車事業は環境整備事業全体に役立っています。

例えば、運賃ですが「環境整備料」を加算させてもらい、全ての訪問者から、美しい環境を守るための、わずかな負担をお願いしております。

また、さきほどの駐車場も、駐車料に自動車の環境負荷に応じて「環境整備料」を加算して徴収し、環境整備事業の独自財源にしております。

視察団

なるほど、よくわかりました。路面電車と色々な環境施策を組み合わせるのがポイントなんですね

スライドNO. 10

視察団

先ほどガイドさんが仰っていた「グリーンベルト」も気になりますが？

見本市ガイド

はい。グリーンベルトとは、天神中心部から半径 400m 内で、都市部の環境良化のための施策を行っている地域のことで、具体的には、建物に「壁面緑化」または「遮熱塗料の塗布」を義務づけると同時に費用を助成しています。

当初「義務付けは行き過ぎでは？」という声もありましたが、天神地区は開発時期が早かっただけに、ビルの老朽化が早く進み、長寿命化のための外壁工事を行わなければならなかったため、義務づけはスムーズに受け入れられましたよ。

夏場は、壁面緑化で室内温度が外気より5度から10度低くなりますし、遮熱塗料では、表面温度が最大で12度低くなるので効果絶大です。

視察団

どおりで、気温のわりに涼しいなと思ったら、実際に涼しいんですね。ヒートアイランド現象は、かなり抑えられたんじゃないですか。

見本市ガイド

そうですね。この一帯は、夏場の気温が3℃低くなっています。

おかげで、空調の利用も減って、ビルの排熱もおだやかになるなど、良い循環が生まれています。

このほか、ビルの形状に応じて壁面太陽光発電も行っています。

また、街路には常緑樹を追加植樹したり、自動販売機の設置を制限して、良い環境が保たれるよう、街のみなさんにも協力してもらっています。

視察団

なるほど。それだけ環境施策に重点を置くと、福岡市の環境問題も相当、深刻だったということなんですか。

スライドNO. 11

見本市ガイド

はい。ヒートアイランド現象を例にとると、夏場のゲリラ豪雨を発生させ、水害問題にもつながっていましたので、その対策は市の大きな課題でした。

これは、30年前の福岡市の気温データですが、都心部と郊外部の間で、かなりの気温差が生じていることが観測されました。いちばん気温較差の大きい地域間では、5度近い較差があります。

視察団

なるほど、環境問題はいずれ取り組まなければならない課題だったんですね

スライドNO. 12

ナレーション

視察団とガイドが話している間にも、路面電車は渡辺通りを走ります。両脇の道路には青々とした緑が茂り、各ビルの屋上や壁面にも緑が見えます。

視察団

うわあ。デパートも緑化しているんですね。新鮮な印象ですね。

見本市ガイド

緑化でデパートの電力消費もかなり抑えられているんですよ。目にも美しい光景で、街を訪れる方々によるこんでいただいています

スライドNO. 13

見本市ガイド

また、グリーンベルト内の主要な電力源は、生ゴミを利用したバイオマスエネルギーです。須崎埠頭に天神地区の生ゴミを集めて、バイオマスエネルギーを生成する工場を設置しました。日々、大量に排出される生ゴミなどの生物資源をエネルギー源として、発電や熱源として再利用しています。

スライドNO. 14

見本市ガイド

さらに、効率的な電力供給を行うため、電力メーターに通信機能や機器の管理機能を持たせて、エアコンなどの稼働状況を把握し、適切な電力配信を行う「スマートグリッド方式」を採用しています。

それでは2つ目の駅、イムズ前で下車します。

スライドNO. 15

ナレーション

イムズ前に電車が到着しました。ビルの奥に視線を向けると、広々とした公園が目に入ってきます。

視察団

繁華街の真ん中に、こんな広い公園があるんですね。素敵ですね。

見本市ガイド

そうですね。あの公園は「天神セントラルエコパーク」といいます。都心には有り得ないぐらい緑がいっぱいですが、この環境を守り育てるために、目に見えないところにも、色々な工夫をしているんですよ。

視察団

へえ～、どんなことですか。

見本市ガイド

スライドNO. 16

見本市ガイド

たとえば、皆さんの足元も工夫があるんですよ。

この道路は保水性道路といい、雨などで蓄えた水分を晴れの日蒸発させて気化熱を奪う「打ち水効果」で路面温度を低くすることができます。具体的にはアスファルト道路より路面温度が15度～20度低くなっています。保水性道路はグリーンベルト内のすべての車道に使われています。

視察団

そういえば、真夏の、道路からのムツとする熱が少ないですね

見本市ガイド

そうですね。おかげで福岡は街が涼しくて歩きやすいとの声もいただいています。小さいお子さんは照り返しの熱の影響を受けやすいのですが、保水性道路は熱中症防止にも役立っていると思います

スライドNO. 17

見本市ガイド

それに、吸収能力以上の余分な水は地中に浸透するので、豪雨の時の河川氾濫の防止や、地中生態の改善といった効果もあるんですよ。

視察団

見た目は普通の道路と変わらないのに、すごい機能があるんですね。

スライドNO. 18

見本市ガイド

この天神セントラルエコパークは、ヒートアイランド対策の一環で市役所本庁舎を須崎埠頭に移転し、跡地を公園として整備しました。一般市民や民間企業に有料で貸し出し、毎週いろんなイベントでにぎわっています。それでは、ここから徒歩でシンポジウム会場に向かいます

ナレーション

一行は公園の中に入りました。

スライドNO. 19

見本市ガイド

これは天神セントラルエコパークの俯瞰図です。
①は市役所を移転した跡地です。移転により公園面積が一挙に広がりました。
②はもとの天神中央公園です。川沿いにホールを設置し、その後ろに近頃、話題の風レンズ風力発電を配置しました。それから、公園周囲のビルをはじめ、一帯のビルは壁面を緑化しています。

見本市ガイド

スライドNO. 20

ナレーション

③は通称「警固屋台公園」です。今日の夕方、ご案内いたしますね。
ちなみに、緑色の線上を路面電車が走っています。

左手には緑の階段、アクロス福岡があります。
芝生の上では家族連れや買い物帰りの人たちがたくさんくつろいでいます。
さらに進むと、
緑に覆われたドーム型のホール、
その奥に大きな扇風機状の建物が見えてきました。

視察団

あの奥に見えるのが風力発電ですか。

スライドNO. 21

見本市ガイド

はい、そうです。弱い風でも発電ができる「風レンズ風車」で、その電気は公園内の照明に使っています。
右側の建物が、今回のシンポジウムの会場「グリーンホール」です。
収容人数は500人で、

スライドNO. 22

見本市ガイド

電気は、主に太陽光発電で賄い、不足分はコージェネレーションシステムで補なっています。

スライドNO. 23

見本市ガイド

コージェネレーションとは、1つのエネルギー源から熱・電気など、2つ以上のエネルギーを取り出して利用するシステムのことです。
環境破壊の原因となる温室効果ガスが大きな問題となっていますが、コージェネレーションは、エネルギー効率を高めることで、こうしたガスの排気量を抑えます。
また、グリーンホール内の水は地下に貯めた雨水を利用しています。
それでは、その地下にご案内します。

スライドNO. 24

ナレーション

地下に降りると、巨大な空間が出現しました。

視察団

公園の下に貯水槽ですか。意外ですね。
どうして、こんな場所に貯水槽を作っているんですか。

見本市ガイド

公園に降った雨は、自然と公園で濾過されて、道路に降った雨よりきれいな水になります。水を人工的に濾過せず、そのまま利用できるように公園の下に貯水槽を作っています。
最大の目的は、集中豪雨時の水害防止ですが、普段は、貯まった水をホールのトイレや消防用水として利用し、時折、隣の薬院新川へ放流して河川の浄化にも役立てています。

ナレーション

環境見本市の第一日目が終わりました。

スライドNO. 25

見本市ガイド

みなさん一日おつかれさまでした。それでは夜の天神にご案内いたします。

視察団

夜は、緑がライトアップされて幻想的です。また、今日は屋台に連れて行ってくれるんですよ。前から、本場のラーメンを楽しみにしていたんですよ。

ナレーション

一行が「天神セントラルエコパーク」を抜け、渡辺通りを渡ると、その奥にまた別の公園が広がっています。

スライドNO. 26

ナレーション

公園内では屋台が開店したばかりです。
奥の方に巨大LEDスクリーンがあり、山笠の映像が流れています。

スライドNO. 27

見本市ガイド

ここが通称「警固屋台公園」です。
むかし、屋台は路上営業だったのですが、歩道の占拠や衛生上の問題に対応するために、営業権の売買禁止や一代限り制を導入すると、店舗数が激減してしまいました。
そこで、福岡名物の屋台を存続させるため、市内各所の公園に屋台用の光熱水道設備やトイレを整備して、店を誘導することにしました。

視察団

とてもにぎわってますねえ。街の一等地で営業できるのは魅力ですね。
ところで、屋台公園の利用料や運営はどうなっているのですか？

見本市ガイド

利用料は、福岡市が水道光熱費などを含めて屋台から徴収し、公園の環境整備を行っています。
また、運営は屋台リーグ制度を導入しています。6か月を1サイクルとして、各屋台がリーグを戦っていきます。

スライドNO. 28

見本市ガイド

屋台リーグは立地が良い都心部のAリーグと、グリーンベルト外のBリーグに分かれています。
まず、導入初回は、屋台の店主に各公園へ利用を申し込んでもらい、抽選で利用者を決定しました。古参の屋台はこの回に限り、既得権保護のため、全店に利用許可を出しています。
ここから、屋台リーグのはじまりです。営業開始後は随時、人気投票を行い、中間発表を経て、最終結果発表で順位を争います。
各公園の上位店は引き続き営業できますが、Aリーグの下位2店はBリーグへ降格し、Bリーグ上位2位はAリーグへ昇格します。
また、Bリーグの下位3店は公園外へ出るようになります。
このほか、各公園には新規参入枠も設けています。

視察団

人気投票でリーグ間の移動もあるんですね！屋台の経営者も気が抜けませんね。

見本市ガイド

そうですね。こうやって店が集まって競い合うことで個性が磨かれて、公園はいつもにぎわってますよ。

視察団

たしかに、お祭りみたいですねえ。それにしても屋台はわくわくします。

見本市ガイド

そうそう。この公園は先ほどスクリーンで流れていた、福岡の代表的な祭り「山笠」や日本最大の祭り「どんたく」をイメージしているんですよ。福岡はにぎやかな祭りの町でもあるんですよ。
それではみなさん、きょうは一日おつかれさまでした。
福岡自慢の屋台料理を、どうぞお楽しみください。



中央区職員提言チームのメンバーです

総務課	河室 英明	維持管理課	森内 亜弓
総務課	亀川 賢也	維持管理課	櫻木 勇介
企画課	明石 亜紀子	生活環境課	延時 博隆
企画課	長尾 和具	健康課	水本 直美
地域振興・支援課	秦 紀代子	健康課	武藤 倫典
地域振興・支援課	高倉 健司	地域保健福祉課	東 ひとみ
市民センター	田中 省伍	衛生課	井筒 弘信
納税課	村山 木綿子	衛生課	川本 大輔
市民税課	田中 里枝	福祉・介護保険課	本田 美奈子
固定資産税課	平 留美	福祉・介護保険課	荒巻 亜矢
市民課	松本 藍子	子育て支援課	牛島 奈緒美
保険年金課	矢動丸 尚憲	保護課	岩田 亮
地域整備課	平位 高浩	保護課	田原 愛美
地域整備課	坂井 俊介		